

連合鳥取

2020春季生活闘争方針

Action!



連合鳥取 2020 春季生活闘争方針について

私たちが未来を変える！

すべての労働者の「底上げ」「底支え」「格差是正」と働き方の見直しで！

I. 連合の 2020 春季生活闘争方針

1. はじめに

(1) 日本経済の自律的成長には内需の拡大が不可欠

2020 春季生活闘争は、「総合生活改善闘争」の位置づけのもと、国民生活の維持・向上をはかるため、労働組合として、社会・経済の構造的な問題解決をはかる「けん引役」を果たす闘争としていかなければならない。現在の日本は、生産年齢人口の急速な減少による深刻な人手不足の中でもゆるやかな成長を続けていた経済がここにきて停滞感を見せており、先行きについても、米中対立や日韓関係などの通商問題、第 4 次産業革命などによる産業構造の変化、消費税増税の影響が懸念されるなど、見通しが不透明な状況にある。こうした中だからこそ、個人消費や設備投資など GDP の約 7 割を占める内需の拡大が不可欠である。加えて、社会保障に関して様々な場で議論がなされているが、すべての国民の将来不安を払拭し得る、安心の社会保障制度に向けて、注視が必要である。

(2) 「経済の自律的成長」「社会の持続性」を実現するためにも、分配構造の転換につながり得る賃上げに取り組む

連合はこれまでの間、長期にわたるデフレ経済によって拡大した様々な格差を是正し、持続可能な社会・経済を実現するため、「底上げ・底支え」「格差是正」をキーワードに春季生活闘争の取り組みを進めてきた。2019 春季生活闘争においては、構成組織・組合の懸命な取り組みにより、1,000 人以上の組合が賃上げの流れをけん引する中、100 人未満の組合の健闘ぶりが顕著となるなど、「大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動」も前進を見せたが、社会全体を俯瞰すると賃上げの流れと企業規模間・雇用形態間などの格差是正の動きは依然として広がりを見せていない。

賃金は労働の対価であると同時に、経済や社会基盤を支える財源でもある。公務・民間にかかわらず、すべての働く者の「底上げ」「底支え」による所得の向上と「格差是正」を実現することは、消費の拡大によって企業の経営基盤を健全化するのみならず、税や社会保障など社会制度の持続性を支えていくことにもつながるものである。

こうした状況を踏まえれば、すべての働く者の将来不安を払拭し、「経済の自律的成長」「社会の持続性」を実現するためにも、分配構造の転換につながり得る賃上げが必要である。

したがって、2020 闘争においても、引き続き、生産性三原則¹（労使協議・公正分配・雇用拡大）にもとづいた「賃上げ」「働き方の見直し」を求めるとともに、働き方も含めた「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」に一体的に取り組むことで、社会全体の生産性向上を促し、成果の適正な分配につなげていく。

とりわけ「賃上げ」については、「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みを再定義し、広く社会全体に賃上げを促すとともに、企業内で働くすべての労働者のセーフティネットを強化していく。加えて中小組合や有期・短時間・契約等で働

¹生産性運動は政労使によるものであり、生産性運動の趣旨を明らかにするために確認されたのが生産性三原則である。生産性三原則とは「雇用の維持・拡大」「労使の協力と協議」「成果の公正分配」のこと。雇用の安定、労働条件の維持向上と生産性向上とは相対立するものではなく、むしろ労使の協力と協議によって両立が可能であることを明示したもの。

く者の賃金を「働きの価値に見合った水準」へと引き上げていく。

(3) 働く者・国民生活の底上げをはかるため、果敢に闘おう！

社会・経済が大きな変革期を迎えようとしている中、わが国における賃金決定メカニズムとしての春季生活闘争を再認識する必要性が高まっている。労働組合の有無にかかわらず、一人ひとりの働きの価値が重視され、その価値に見合った処遇が担保される社会を実現するためにも、生産性三原則にもとづく労使の様々な取り組みをいまだ届いていない組織内外に広く波及させていくための構造と「賃金水準」闘争を実現するための体制の整備に取り組む。

また、労働者を「労働力」ではなく「人」として尊重する社会の実現のためには、労働組合自らが仲間を増やしすべての職場や地域で集团的労使関係を拡大していくことが重要であり、組織拡大に全力で取り組む。連合・構成組織・地方連合会・組合は一致団結して、社会の不条理や格差の拡大を許さず、正規・非正規、組織・未組織を問わず、すべての働く者・国民の生活の底上げをはかるため、『私たちが未来を変える！すべての労働者の「底上げ」「底支え」「格差是正」と働き方の見直しで！』をスローガンに掲げ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて果敢に闘おう。

2. 基本的な考え方

(1) 賃金要求に対する考え方

世界経済・日本経済の状況については、家計の状況をみると、社会保険料負担の上昇が賃上げによる雇用者報酬増を上回る一方で、社会保障をはじめとする将来不安が一向に解消されないため、収入の増加分の大部分が貯蓄に回る等、極めて防衛的な行動となっている。

働く者の将来不安を払拭し、「経済の自律的成長」「社会の持続性」を実現するためには「人への投資」が不可欠であり、分配構造の転換につながり得る賃上げが必要である。すべての企業労使は日本経済の一端を担うという社会的役割と責任を強く意識し、すべての働く者の労働諸条件の改善につなげていかなければならない。

したがって、2020 春季生活闘争においては、社会全体に賃上げを促す観点とそれぞれの産業全体の「底上げ」「底支え」「格差是正」に寄与する取り組みを強化する観点から、月例賃金にこだわり、賃上げの流れを継続・定着させる。加えて、中小組合や有期・短時間・契約等で働く者の賃金の「格差是正」の取り組みの実効性を高めるためにも、働きの価値に見合った賃金の絶対額にこだわり、名目賃金の最低到達水準の確保と目標水準への到達、すなわち「賃金水準の追求」に取り組んでいく。

なお、今次闘争より、広く社会全体に賃上げを促す観点と企業内で働くすべての労働者のセーフティネットを強化していく観点、加えて中小組合や有期・短時間・契約等で働く者の賃金を「働きの価値に見合った水準」へと引き上げていく観点から、「底上げ」「底支え」「格差是正」を次のとおり再定義する。

<目的と要求の考え方>

| | 目的 | 要求の考え方 |
|------|-------------------------|--|
| 底上げ | 産業相場や地域相場を引き上げていく | 定昇相当分+引き上げ率 (→地域別最低賃金に波及) |
| 格差是正 | 企業規模間、雇用形態間、男女間の格差を是正する | ・社会横断的な水準を額で示し、その水準への到達をめざす ・男女間については、職場実態を把握し、改善に努める |
| 底支え | 産業相場を下支えする | 企業内最低賃金協定の締結、水準の引き上げ (→特定(産業別)最低賃金に波及) |

＜連合・構成組織・地方連合会の取り組み＞

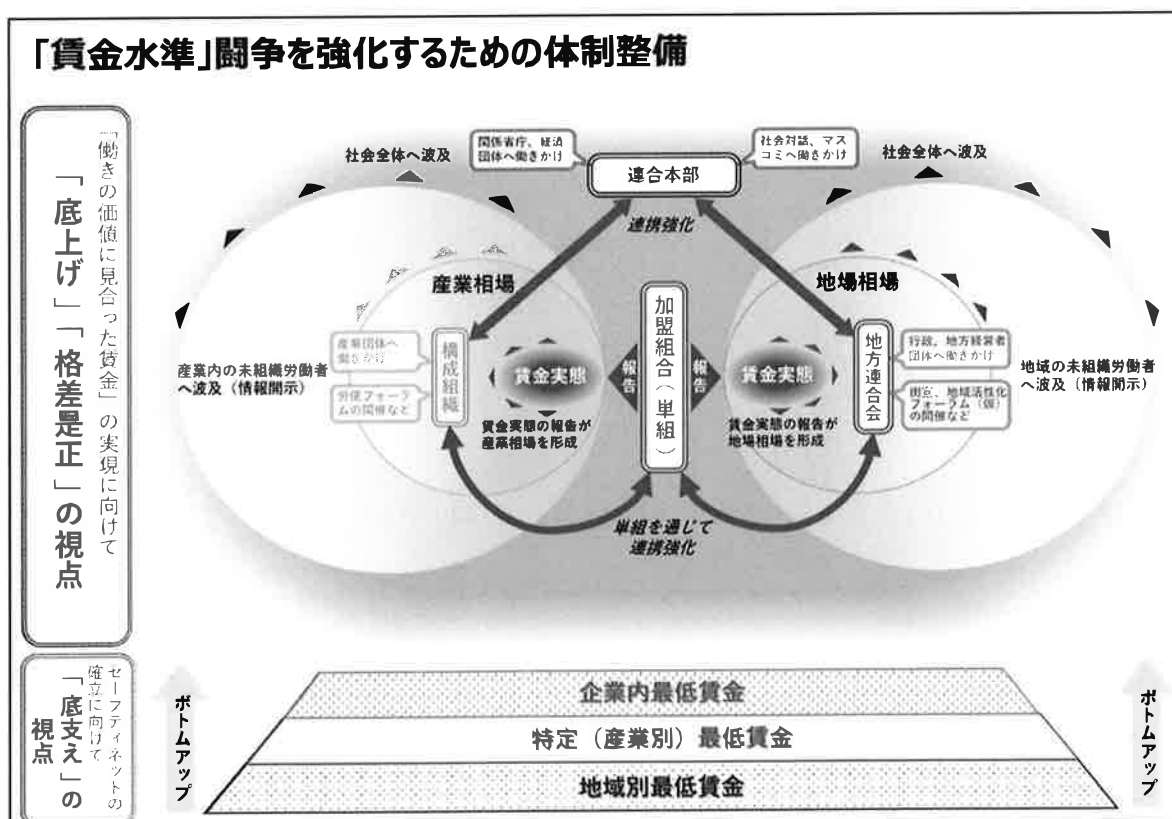
| | 連合 | 構成組織 | 地方連合会 |
|------|--|------------------|---|
| 底上げ | 様々な指標を総合勘案し、「定昇相当分+引き上げ率」で提示 | 連合方針を踏まえて要求方針を検討 | 連合方針を踏まえて要求方針を検討 |
| 格差是正 | 「企業規模間格差是正に向けた目標水準」および「雇用形態間格差是正に向けた目標水準」を設定 | ↑ | ①連合リビングウェイズをクリアする（別紙1参照） ②各県の地域ミニマム第1十分位以下をなくす（別紙2参照） ③連合方針をめざす |
| 底支え | 企業内のすべての労働者を対象に企業内最低賃金協定を締結する際のめざす水準を設定 | ↑ | ↑ |

(2) 賃金水準闘争を強化していくための体制整備

中小組合や有期・短時間・契約等で働く者の賃金を「働きの価値に見合った水準」に引き上げ、企業内の男女間賃金格差を是正していくためには、賃金実態の把握と賃金制度の確立が不可欠である。

構成組織は、加盟組合の個人別賃金データの収集とその分析・課題解決策に向けた支援を強化する。加えて、産業相場、地場相場を引き上げ、産業内や地域の未組織労働者への波及効果を高めていくためにも、地方連合会との連携を一層強め、地域における賃金相場の形成に向けて、「地域ミニマム運動」へ積極的に参画する体制を整える。

「賃金水準」闘争の広がりを確認していくためには、一定の評価軸が必要であり、定量的・定性的に把握できる仕組みをあらたに設定する。



(3) 「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現

全産業・製造業・非製造業のいずれも人手不足感がさらに深刻となっており、個別企業労使にとって「人材の確保・定着」と「人材育成」に向けた職場の基盤整備が従来以上に重要課題となる中、2020年は「働き方改革関連法」が本格的な施行を迎えることとなる。「時間外労働時間の上限規制」の中小企業への適用、「同一労働同一賃金」への対応など法令遵守はもちろんのこと、有期・短時間・契約等で働く者の雇用の安定、65歳から70歳までの就業機会確保と60歳以降の処遇のあり方への対応、職場の安全対策、安心して育児・介護・治療と仕事が両立できるワーク・ライフ・バランスの実現など、公務・民間、企業規模、雇用形態にかかわらず、個々人のニーズにあった多様な働き方の仕組みを整え、安心・安全で働きがいある職場の構築に取り組んでいく。

(4) 働き方も含めた「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」

中小企業の経営基盤を強化し、賃上げ原資を確保していくためには、「取引の適正化」の推進が不可欠である。

とりわけ「働き方改革関連法」の改正事項が大企業から先行適用される中、大企業等による長時間労働是正をはじめとした取り組みが、下請け等中小企業への「しわ寄せ」とならないよう取り組みを進めることが重要である。加えて、2019年10月の消費税増税分を確実に取引価格に転嫁できるよう、職場労使を含め連合全体で取り組むとともに、経営者団体および関係省庁と連携し社会全体に訴えていく。

さらに、働く者は同時に消費者でもある。一人ひとりが倫理的な消費行動を日々実践していくことも持続的な社会に向けた大切な営みであり、消費者教育の推進とともに、働く者の立場から社会に呼びかけていく。

II. 鳥取県の経済動向（2020年2月3日鳥取県公表）

1. 基調判断【景気の基調には、弱い動きとなっている】

足元の景気の動きを示す一致指数（有効求人倍率、製造工業生産指数、百貨店販売額、大口電力需要など）は、消費や雇用面の指標が押し上げ、下げ止まりの動きが見えつつあるものの、景気の基調はなお弱い動きとなっている。先行きを示す先行指数（住宅着工戸数、所定外労働時間数など）もなお弱い動きとなっており、景気の先行きは、不透明。

| 景気動向指数 | | 2019年 | | | | | |
|--------|-------|-------|------|------|------|------|------|
| | | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
| 一致指数 | 原指数 | 28.6 | 78.6 | 14.3 | 28.6 | 42.9 | 71.4 |
| | 7ヶ月平均 | 41.8 | 38.8 | 34.7 | 30.6 | 35.7 | 41.9 |
| 先行指数 | 原指数 | 28.6 | 28.6 | 7.1 | 42.9 | 14.3 | 57.1 |
| | 7ヶ月平均 | 45.9 | 42.9 | 37.8 | 35.7 | 33.7 | 31.6 |

※一般的に、指数が50を割ると景気が良くないと判断される。

2. 鉱工業生産動向

電気・情報通信機械や電子部品・デバイスなどが押し下げ、生産指数は3か月ぶりの前月比マイナスとなる。パルプ・紙・紙加工品、工業用雑種紙などが低下の一方、印刷用紙などが上昇。基調としては持ち直しの動きに足踏みが見られる。引き続き、先行きは、貿易摩擦などの影響もあり、先行きは不透明。

(前月比の単位：%)

| 鉱工業生産指数 | | 2019年 | | | | | |
|----------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
| 全体 | 生産指数 | 98.7 | 100.7 | 95.8 | 97.2 | 99.0 | 98.4 |
| | 前月比 | 0.2 | 2.0 | ▲4.9 | 1.5 | 1.9 | ▲0.6 |
| | 出荷指数 | 97.1 | 102.0 | 95.7 | 95.3 | 99.7 | 99.3 |
| | 前月比 | ▲1.4 | 5.0 | ▲6.2 | ▲0.4 | 4.6 | ▲0.4 |
| | 在庫指数 | 113.2 | 108.1 | 111.1 | 110.6 | 116.1 | 114.1 |
| | 前月比 | 2.2 | ▲4.5 | 2.8 | ▲0.5 | 5.0 | ▲1.7 |
| 電子部品 デバイス | 生産指数 | 89.1 | 88.6 | 94.8 | 98.3 | 96.5 | 90.3 |
| | 前月比 | ▲7.9 | ▲0.6 | 7.0 | 3.7 | ▲1.8 | ▲6.4 |
| 電気機械 | 生産指数 | 74.0 | 81.7 | 91.7 | 69.1 | 83.8 | 71.4 |
| | 前月比 | 16.4 | 10.4 | 12.2 | ▲24.6 | 21.3 | ▲14.8 |
| 食料品・ たばこ | 生産指数 | 107.1 | 100.7 | 95.4 | 105.7 | 111.2 | 108.2 |
| | 前月比 | 7.6 | ▲6.0 | ▲5.3 | 10.8 | 5.2 | ▲2.7 |
| パルプ・紙 ・紙加工品 | 生産指数 | 103.2 | 100.8 | 95.2 | 106.2 | 92.9 | 96.5 |
| | 前月比 | 0.3 | ▲2.3 | ▲5.6 | 11.6 | ▲12.5 | 3.9 |

3. 消費動向

消費増税の影響も残り、低調な動き。スーパーは前年同月比プラスとなるも、百貨店、ホームセンター・家電、乗用車は、消費増税前の駆け込み需要の反動も残りマイナスが続く。先行きは、暖冬のため季節商品にも厳しさが見込まれる。

(単位：百万円、%)

| 大型小売店販売額 | | 2019年 | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
| 合計 | 販売額 | 4,343 | 4,496 | 4,653 | 4,653 | 3,854 | 4,381 |
| | 前年同月比 | 0.6 | ▲4.9 | ▲2.2 | 14.6 | ▲8.2 | ▲3.6 |
| 百貨店 | 販売額 | 1,280 | 1,275 | 1,062 | 1,376 | 1,000 | 1,324 |
| | 前年同月比 | ▲3.5 | ▲6.0 | ▲17.5 | 21.7 | ▲20.2 | ▲14.6 |
| スーパー | 販売額 | 3,063 | 3,221 | 3,591 | 3,277 | 2,854 | 3,057 |
| | 前年同月比 | 2.4 | ▲4.4 | 3.4 | 11.9 | ▲3.2 | 2.0 |

○11月全体：44億円、前年同月比3.6%減(2か月連続)

○11月百貨店：13億円、" 14.6%減(2か月連続)

○11月スーパー：31億円、" 2.0%増(2か月ぶり)

(単位：前年同月比、%)

| ホームセンター 家電量販店販売額 | | 2019年 | | | | | |
|---------------------|--|-------|-------|------|------|-------|-------|
| | | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
| 合計 | | 5.0 | ▲12.6 | 11.4 | 42.7 | ▲15.9 | ▲7.3 |
| ホームセンター | | ▲2.4 | ▲7.4 | 2.7 | 24.2 | ▲13.7 | ▲4.6 |
| 家電量販店 | | 14.1 | ▲17.3 | 21.8 | 62.9 | ▲19.1 | ▲10.5 |

○11月全体：23億円、前年同月比7.3%減(2か月連続)

○11月業態別

・ホームセンター：13億円、同 4.6%減(2か月連続)

・家電：10億円、同 10.5%減(2か月連続)

(単位：前年同月比、%)

| 乗用車新車新規 登録台数 | 2019年 | | | | | |
|-----------------|-------|------|------|-------|-------|-------|
| | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| 合計 | 2.2 | 10.1 | 18.6 | ▲28.3 | ▲18.1 | ▲18.5 |
| 登録車 | 12.9 | 2.7 | 18.8 | ▲27.9 | ▲23.2 | ▲17.5 |
| 軽自動車 | ▲10.5 | 19.0 | 18.5 | ▲28.8 | ▲11.2 | ▲19.6 |

○12月全体：1,357台、前年同月比18.5%減（3か月連続のマイナス）

・登録者：17.5%減（3か月連続：普通車24.9%減、小型車10.1%減）

・軽自動車：19.6%減（3か月連続）

4. 雇用動向

所定労働時間は、製造業が大幅な前年同月比マイナスで、全産業も6か月連続のマイナス。新規・有効求人倍率は、ともに3か月ぶりの前月比マイナスとなるも、引き続き高水準で推移。基調としては、一部に減速感が見られるものの、引き続き改善している。

(単位：倍)

| 有効求人倍率 | 2019年 | | | | | |
|--------|-------|------|-------|------|------|-------|
| | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| | 1.72 | 1.72 | 1.67 | 1.69 | 1.70 | 1.67 |
| 前月差 | ▲0.03 | 0.00 | ▲0.05 | 0.02 | 0.01 | ▲0.03 |

(2015年=100、単位：%)

| 所定外労働時間指数 | 2019年 | | | | | |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
| | 122.3 | 120.2 | 110.6 | 112.8 | 119.1 | 123.4 |
| 前年比 | ▲4.2 | ▲6.6 | ▲2.8 | ▲8.6 | ▲11.8 | ▲8.7 |

5. 企業倒産動向

2019年の倒産件数は19件で、内訳は建設業が5件、小売業が5件、製造業が3件、卸売業が2件、サービス業が2件、運輸・通信業が1件、不動産業が1件、その他0件となっている。（19件すべてが不況型倒産に分類される販売不振となった。）

倒産企業の従業員数別は10人未満が19件。前年は20件。

| 年 | 倒産件数 | 負債総額 | 年 | 倒産件数 | 負債総額 |
|-------|------|----------|-------|------|----------|
| 2014年 | 20件 | 45億65百万円 | 2017年 | 22件 | 24億92百万円 |
| 2015年 | 23件 | 35億04百万円 | 2018年 | 22件 | 39億22百万円 |
| 2016年 | 32件 | 51億51百万円 | 2019年 | 19件 | 29億21百万円 |

6. 消費者物価指数（2019年）

(2015年=100)

| 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 102.4 | 102.3 | 102.5 | 102.5 | 102.6 | 102.3 |
| 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| 102.2 | 102.7 | 103.1 | 102.9 | 102.9 | 102.7 |

Ⅲ. 連合鳥取 2020 春季生活闘争方針

1. 基本的な考え方

- (1) 連合の 2020 春季生活闘争方針を基本とし、引き続き地域労働者の雇用と生活を守る運動として、すべての組合は月例賃金にこだわり、賃金の引上げをめざす。要求の組み立ては、定期昇給相当分（賃金カーブ維持相当分）を確保した上で、名目賃金の到達目標の実現と最低到達水準の確保、すなわち「賃金水準の追求」にこだわる内容とする。（「底上げ」「格差是正」）同時に、企業内で働くすべての労働者の生活の安心・安定と産業の構成基準を担保するため、企業内最低賃金の協定化に取り組む。なお、取り組みにあたっては、企業内最低賃金協定が特定（産業別）最低賃金の金額改正に強く寄与することも踏まえる。（「底支え」）加えて、各産別で設定する名目賃金の到達目標の実現と最低到達水準の確保にこだわる。また、共通する運動課題を掲げ全構成組織が参加する地域春闘を展開する。そして、すべての組合が取り組むべき課題（地域ミニマム運動）について、連合方針に基づき設定する。また、連合鳥取として「重点取り組み課題」を設定する。
- (2) 正規・有期・短時間・契約等、組織・未組織労働者を問わず、「すべての労働者が働きの価値に見合った水準」に向けた闘争と位置付け、要求水準は、社会全体に賃上げを促す観点と、それぞれの産業全体の「底上げ」「底支え」「格差是正」に寄与する取り組みを強化する観点からも、賃金は2%以上を基準とし、定期昇給相当分（賃金カーブ維持相当分）を含め4%以上とする。とりわけ喫緊の課題である賃金・労働条件の格差是正や均等処遇の実現に力点を置いた取り組みを行う。
- (3) 中小・地場組合の賃金改善に向けて、連合方針及び地域ミニマム運動で把握した賃金分析結果を活用し、中小・地場組合の「要求目安」「地域ミニマム賃金の目標」を設定する。
- (4) 働き方改革実現に向け、改めて労使が長時間労働の是正や同一労働同一賃金など働き方の見直しにも同時に取り組み、個々人の状況やニーズにあった多様な働き方を選択出来る仕組みを整える事で、それぞれの働きと能力の高まりによって生み出された労働の質的向上分にふさわしい処遇を確保していく。時間外労働の上限規制・把握の義務化、年次有給休暇の取得促進に向けた労働基準法改正が行われることの趣旨と意義を踏まえ、先行的に職場の基盤づくり等について協議を深める。
- (5) 連合鳥取と各産別が連携し、地域における賃金相場の形成に向けて、積極的な情報開示に努める。県内に交渉機能を持つ中小・地場組合の運動を支えるとともに、地域社会への波及効果をめざす。あわせて、未組織の組合やすべての労働者の底上げへとつながるよう春闘街宣活動の体制強化をはかる。

2. 取り組みの具体化

(1) 事前労使協議の徹底

春季生活闘争は、企業経営のあり方を根本から問い直し、労使が健全な危機感を共有化しつつ厳しさに流されることなく、人財育成、事業展望、雇用維持、賃金・労働時間などの労働条件、職場の活性化策など、総合的に労使間論議を行う場としてとらえる。

そのためには、会社の財務状況、企業体力の把握に向けた事前協議を行い、諸課題について労使の共通認識と知恵を絞りあう体制を確立する。

(2) 雇用の安定確保

「雇用の安定」はすべてに優先する課題であり、雇用維持に懸念がある場合は、経営側に対して、雇用労働者と地域社会に対する企業責任を明らかにさせると共に、必要な施策についての事前協議の徹底をはかる。加えて、労働契約法第 18 条の無期

転換ルールが適用され2年経過したことを踏まえ、無期転換あるいは正社員登用に
 向けた制度の促進と雇止め防止等々すべての労働者の立場にたった働き方の見直し
 に向けた労使確認を行うとともに、当該労働者への周知を徹底するなど、雇用の安
 定確保に引き続き取り組む。

(3) 連合鳥取「重点取り組み課題」

地域労働者の雇用と生活を守る運動として、共通する運動課題を掲げ、全構成組
 織が必ず要求書を提出し地域春闘を展開する。具体的には、連合鳥取として『重点
 取り組み課題』を次の通り設定する。

| 《2020 春季生活闘争》 | 設定の考え方 |
|----------------------------|--|
| i. 有期雇用労働者を含めた全労働者の処遇改善 | 連合の重要課題であり引き続き 取り組む |
| ii. 企業内最低賃金の協定化（水準引き上げ） | 未協定組合は必須 |
| iii. 総実労働時間の短縮と時間外割増率の引き上げ | 「働き方改革関連法」の趣旨と意 義を踏まえ、先行的に職場の基盤 づくりに引き続き取り組む |
| iv. 希望者全員の65歳までの雇用確保 | ※の対応にて引き続き取り組む |

※既に定額部分（基礎年金）は65歳支給へと繰り延べ措置となっている。2013年4月
 以降は、報酬比例部分（厚生年金）が段階的に65歳へと繰り延べになるが、その報酬
 比例部分が支給*1される年齢をもって「再雇用等に伴う過渡的措置の労使協定を締
 結している」場合は、原則65歳まで基礎年金が支給されない「半額年金」の収入とな
 る。

*1「報酬比例部分」の支給は、2013年度から2025年度にかけて、段階的に65歳
 に引き上げられています。（女性は5年遅れのスケジュール）

(4) 取り組みの環境づくり

- 1) 連合鳥取は、中小共闘センターを設置し、各構成組織の要求・交渉状況の集約と情
 報提供、集中交渉期間の設定、側面的な交渉支援等、地域における共闘体制を確立す
 る。
- 2) 総決起集会の開催、春闘課題をテーマとした街頭宣伝活動やマスコミ対策など社会
 的アピール行動、行政機関や経営者団体等への要請行動に取り組む。

3. 賃上げ要求

(1) 賃上げの取り組み

すべての組合は月例賃金にこだわり、要求の組み立ては、「底上げ」「底支え」
 「格差是正」に寄与する取り組みを強化する観点から賃金については2%以上を基
 準とし、定期昇給相当分（賃金カーブ維持相当分）を含め4%以上とする。

具体的な要求設定額は、連合方針（4%程度）を踏まえ構成組織が設定する。加
 えて地域中小企業の賃金主準は、都市部と比べ低位にあることを踏まえ、地域間格
 差是正のための要求も行っていく。

(2) 生活・職務関連手当等の引上げ

あらゆる労働条件を点検し、労働条件の復元や適正な成果の配分の観点から、必
 要な取り組みを進める。

(3) 企業内最低賃金の取り組みの一層の強化

- 1) 全労働者の処遇改善のために、企業内最低賃金協定の締結拡大と水準の引き上げを
 はかることが必要である。このため、未締結組合は協定化の要求を行いすべての組合
 で協定化をはかる。そして、その産業に相応しい水準の協定化をはかる。

2) 連合鳥取は、その結果を法定最低賃金〔県最賃、特定（産業別）最賃〕の水準引き上げに結びつける取り組みを行う。

(4) 18歳高卒初任給の参考目標値 …… 153,300円 【連合白書 P108 参照】

(5) 生活防衛の観点からの一時金水準の確保・向上

一時金の水準は、産業・単組別で見れば開きは大きく、生活防衛の面からみて問題を抱えているところも多い。基本的には、生活の基礎である月例賃金の維持・改善を最優先した闘争を推進していくが、一時金も生活給の補填部分でもあることから、一時金を含めた年間収入の確保・向上に努めていく。

(6) すべての労働者の労働条件改善の取り組み【連合白書 P15～P16、P31、P41～P44 参照】

1) すべての働く者、とりわけ雇用労働者の 37.5%（鳥取県 35.9%）を占め 2,016 万人（鳥取県 83.0 千人）を数えるすべての労働者の労働条件の改善に重点的に取り組むことが重要である。質・量の側面で一般労働者（正規）と同等の仕事を行っているにもかかわらず、賃金や処遇に格差が存在する場合も多い。有期・短時間・契約等で働く労働者の約 7 割を占めるパートの時間給は、一般労働者（正規）の 6 割に満たない水準である。さらにパート・有期・派遣労働者の約 15.6%（299 万人）は今の雇用形態を余儀なくされている労働者（不本意）である。

有期・短時間・契約等で働く者を取り巻く環境は、社会保険適用労働者の拡大、2018 年 4 月より労働契約法第 18 条に基づく有期契約労働者の無期契約への転換の開始、法定地域別最低賃金上昇による就労時間調整などにより大きく変化する。こうした動向を把握し、春季生活闘争を通じて、総合的な労働条件の改善に向けた取り組みを一層強化する必要がある。

公務職場を含め雇用安定化など総合的な労働条件改善に取り組むとともに、賃金（時給）については「時給 1,100 円以上」の実現をめざす。※（連合方針）通常の労働者とパートタイム・有期雇用で働く労働者との不合理な待遇さを禁止する、「同一労働同一賃金」法施行に向け労使協議などにより是正に取り組むこととする。

2) 連合鳥取としてのすべての労働者の要求目安を **25 円/h 以上** とする。

① 賃金構造基本統計調査から全産業・規模計（組合員の基本賃金ベース）の 1 年・1 歳間差は、4,000 円を月所定労働 164 時間で除した時間給 = 25 円

② 職場におけるすべての労働者の均等待遇実現に向けて【連合白書 P26～P31 参照】

雇用形態にかかわらず仕事に応じた適正な処遇の確保に向けた基盤整備に先行的に取り組む。

個々人のニーズに応じた働き方が選択できる制度の整備を推進する。

（雇用安定に関する項目）

[1] 正社員への転換ルール・制度を整備し運用状況の点検を通じて、正社員化を希望する者の雇用安定を促進する。

[2] 有期雇用労働者の雇用の安定に向け、労働契約法第 18 条の無期転換ルールの内容周知や、無期転換回避目的の雇止めなどが生じていないかの確認、通知期間 5 年経過前の無期転換の促進などを進める。

「同一労働同一賃金」の法規定が行われる事を踏まえ、連合ガイドラインの手引きを参考に、職場における雇用形態間の不合理な労働条件の点検・改善に取り組む。

（均等処遇に関する事項）

[1] 一時金の支給

[2] 福利厚生全般および安全管理に関する取り組み

[3] 社会保険の加入状況の確認・徹底と加入希望者への対応

[4] 有給休暇の取得促進

[5] 育児・介護休業の取得は正社員と同様の制度とする

[6] 再雇用者（定年退職者）の処遇に関する取り組み
時給の引き上げの取り組みは、「底上げ」「底支え」「格差是正」の観点から均等処遇の実現をはかるため、次のいずれかの取り組みを展開する。

- [1] 「1,100円の実現に向けた時給の引き上げ（2020年4月の法施行に向け）」
- [2] 「同一労働同一賃金」法の趣旨にもとづき「底上げ」「底支え」「格差是正」の観点から取り組みを進める。
- [3] 単組が取り組む地域ごとの水準については、「県別リビングウェイジ」を上回る水準をめざす。
- [4] 正社員との均等待遇の実現をはかるため、昇給ルールの導入・明確化の取り組みを強化する。昇給ルールが確立されている場合は、その昇給分を確保した上で、「底上げ」「底支え」「格差是正」にこだわる内容とする。
賃金の引き上げについては、雇用形態にかかわらず正社員との均等待遇の観点から改善を求める。

(7) 賃金実態調査を基にした中小地場の賃上げ要求の取り組み

中小企業を取り巻く状況は大変厳しいが、全国的には企業数の99.7%、従業員の約7割を担う中小企業の経営基盤の安定とそこで働く労働者の労働条件の向上、人材の確保・育成は日本経済の健全な発展にとって不可欠な課題である。

中小労働者の処遇改善、格差是正のためには、中小企業の収益改善が必要である。このため、「中小企業の公正取引の確立に向けた連合の取り組み」方針にもとづき、構成組織と様々な場を活用し、労使間の共通認識を深めるとともに、下請け代金法等の関係法規の遵守と適正な取引関係の確立について徹底するための取り組みを行う。同時に、連合本部と連携して、公契約基本法・公契約条例の制定等に関する取り組みを強化し、中小企業労働者の生活や労働条件等を確保する。

具体的な要求設定は、産別方針に基づき労使で維持原資を確認し決定することとする。さらに、連合鳥取として地域間格差も考慮し、中小・地場を含めた未組織職場に対する参考数値を以下の通り提示し、地域春闘に取り組む。

2020 連合鳥取地域ミニマム運動・2019 年度賃金実態調査集計結果

| | |
|-----------------------|--------------------|
| 全産業・男女計人数 | 4,093人 (4,702人) |
| 平均年齢 | 39.4歳 (39.0歳) |
| 平均勤続 | 14.3年 (13.8年) |
| 平均賃金 | 225,859円(229,251円) |
| 1次回帰式(20~40歳) 1年・1歳間差 | 3,759円 (3,811円) |

() は、2019年実績

1) 賃金引上げ要求目安 ※1

① 産業全体の「底上げ・底支え」「格差是正」として賃上げ（ベア2%以上）を要求する。

$$= 225,859 \text{円} \times 2\% \text{以上} \approx \underline{4,600 \text{円以上}}$$

② 賃金カーブの維持相当分として 4,000円 を要求する。

$$= 1 \text{年} \cdot 1 \text{歳間差} = 3,759 \text{円} \approx 4,000 \text{円}$$

③ 地域の賃金相場の形成（格差是正）の運動を進める。【連合白書 P50 - P53】

$$= (277,100 \text{円 (全体)} - 229,300 \text{円 (鳥取県)}) \times 2\% \approx 1,000 \text{円 (2019 地域ミニマム数値 (ベア分))}$$

具体的には、

$$\text{①} \underline{4,600 \text{円以上 (ベア2\%以上)}} + \text{②} \underline{4,000 \text{円}} + \text{③} \underline{1,000 \text{円}} = \underline{9,600 \text{円以上}} \quad \text{※2}$$

※1 「賃金引上げ要求目安」は、連合鳥取構成中小労組の昨年の個別賃金データ（2019年10月：資料参照）を参考に設定。

※2 「以上」とは、必要により賃金還元分や格差是正分を上乗せして要求する。

2) 賃金水準改善のための水準値および「地域ミニマム賃金」の目標設定

中小・地場組合の賃金底上げをめざして、連合鳥取構成中小労組の昨年の個別賃金データと昨年までの目標設定額を総合的に勘案し、次の通り設定する。

| 年齢ポイント | 20歳 | 25歳 | 30歳 | 35歳 | 40歳 |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 到達すべき水準値 | 154,900円 | 176,500円 | 195,600円 | 221,200円 | 228,500円 |
| 地域ミニマム賃金 | 153,300円 | 166,600円 | 180,600円 | 194,000円 | 205,100円 |

※到達すべき水準値＝個別賃金データ各年齢ポイント平均値をベースに連合鳥取独自設定

※地域ミニマム賃金＝全産業・男女計、第1四分位の3次回帰を基本に設定

※41歳以上については、P18・年齢別賃金特性値参照（地域ミニマム賃金チェック指標）

※参考資料：費目別・世帯人数別標準生計費（平成28年、29年、30年）P22,23参照

4. 政策・制度の取り組み

(1) ジェンダー平等・多様性・男女平等の推進に関する取り組み【連合白書 P44～参照】

性別にかかわらず人権の尊重の観点から、あらゆるハラスメント対策や差別禁止の取り組み、仕事と生活の調和をはかるため、すべての労働者が両立支援制度を利用できる環境整備など、雇用における男女平等の実現、均等待遇に向けた取り組みの推進。

- 1) 女性活躍推進法、男女雇用機会均等法等の周知徹底・点検
- 2) あらゆるハラスメント対策と差別禁止に関する取り組み
- 3) 育児や介護と仕事の両立に向けた環境整備
- 4) 次世代育成支援対策推進法にもとづく取り組みの推進

(2) ワークルールの取り組み【連合白書 P41～参照】

すべての職場におけるディーセント・ワークの実現、ワーク・ライフ・バランスの推進、コンプライアンスの徹底をはかる観点から取り組みを進める。

- 1) 改正労働基準法に関する取り組み
- 2) すべての労働者の雇用安定と公正な労働条件確保の取り組み
- 3) 障がい者雇用に関する取り組み
- 4) 短時間労働者に対する社会保険の適用拡大に関する取り組み
- 5) 治療と仕事の両立の推進に関する取り組み

(3) 運動の両輪としての「政策・制度実現の取り組み」【連合白書 P46 参照】

すべての働く者の「底上げ」「底支え」「格差是正」に向けて、「2020年度 重点政策実現の取り組み方針」を踏まえ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた以下の政策課題について、春季生活闘争の労働諸条件改善の取り組みとともに運動の両輪として推し進める。

- 1) 企業間における公正・適正な取引関係の確立に向けた取り組み
- 2) 税による所得再分配機能の強化に向けた取り組み
- 3) すべての人が安心して働き暮らせるよう、社会保障制度の充実・確保に向けた取り組み（年金、医療、介護、子ども、子育て支援など）
- 4) 労働者保護のための消滅時効改正に向けた取り組み
- 5) 意欲ある高齢者が安心して働くことのできる環境整備に向けた取り組み
- 6) 改正法の施行を見据えた女性活躍推進とハラスメント対策の更なる取り組み
- 7) 教育の機会均等実現に向けた教育の無償化・奨学金の拡充に向けた取り組み

5. 闘いの展開

(1) 春季生活闘争体制の立ち上げ

第2回（拡大）執行委員会（2020.1.17）での闘争方針決定をもって「闘争委員会」を設置するとともに、「中小共闘センター」を立ち上げる（1月27日）。そして、

「2020 春季生活闘争開始宣言集会」を開催（2月8日）し、闘争方針の浸透をはかる。

◆闘争委員会

○構成：執行委員会メンバー

○役割：闘争方針に基づき企画・運営を行う

◆中小共闘センター

○構成：中小労働局長、連合鳥取専従役員

中小労組を組織する産別を中心に次の組織より各1名

- | | | | | |
|-------|----------|--------|--------|--------|
| ・自治労 | ・U Aゼンセン | ・電機連合 | ・J A M | ・J R連合 |
| ・紙パ連合 | ・全国農団労 | ・自動車総連 | ・交通労連 | ・運輸労連 |
| ・私鉄総連 | ・フード連合 | ・全国ガス | | |

○役割：中小労組の情報交換や闘争支援を行う

◆「連合鳥取 2020 春季生活闘争開始宣言集会」の開催

○日 時 2020年2月8日（土）13時30分～

○場 所 ハワイアロハホール 大ホール

東伯郡湯梨浜町はわい長瀬 584 TEL：0858-35-5678

○参加規模 300人規模

○内 容 ①主催者あいさつ

②「2020 地域春季生活闘争の重要性について」（仮）

講師：連合総合政策推進局・総局長 富田 珠代さん

③連合鳥取 2020 春闘方針提案

④意見・討論

⑤闘争開始宣言

⑥団結がんばろう

(2) 要求書の提出と集中的交渉・決着時期の設定

県域交渉を行う各組合は、可能な限り統一的対応を行うこととし、次の日程による組み立てを行う。

- 1) 職場総点検活動 2月
- 2) 要求書の提出 構成産別方針を遵守するが、3月上旬まで、遅くとも3月末までを基本とする。
- 3) 集中交渉・決着 3月中旬～4月に交渉を集中させ、4月中旬までの決着に最大限努力する。【ヤマ場 3月10日（火）～12日（木）】
- 4) 要求・妥結状況のマスコミへの公表
正規・有期・短時間・契約等、組織・未組織を問わず、すべての労働者へ地域相場波及を狙いに、集計結果（4月速報値）を4月中旬にプレスリリースするので、迅速な情報提供をお願いします。

(3) 具体的な取り組み

- 1) 情報の収集と提供
 - ①各構成組織の要求・妥結状況について情報収集と速報を適宜発行する。
 - ②情報収集内容は、「賃金の定昇制度、カーブ維持分、改善分」「地域ミニマム賃金」「一時金」「連合鳥取重点取り組み課題」等とする。
 - ③各構成組織は、要求書の提出、回答・妥結の都度、速やかに連合鳥取に報告する。
- 2) 中小共闘センターの取り組み
中小労組の要求・交渉状況の情報交換、解決促進に向けた支援活動に取り組む。
 - ①中小共闘センター幹事会
 - 第1回幹事会 1月27日（月）
 - 第2回幹事会 4月初旬
 - 第3回幹事会 7月初旬

- ②未加盟組合（産別未加盟）へのオルグ
 - 専従役員で2月中旬に取り組む。
- ③未解決組合激励・支援行動
 - 情勢を見極めつつ、中小共闘センター幹事会で検討する。
 - 未組織労働者を含めた地域労働者への波及効果を狙いに、構成組織の要求・妥結状況（中間集計）を4月中旬にマスコミに公表する。
- 3) 集会などの開催
 - ①各地協単組代表者会議（拡大幹事会等）の開催
 - 各地協にて具体的な取り組みへの意識合わせを目的とする
 - 時期場所 東部地協 2月17日（月）18時30分～／とりぎん文化会館
 - 中部地協 2月12日（水）18時30分～／倉吉体育文化会館
 - 西部地協 2月14日（金）18時30分～／米子コンベンションS
 - ②春闘勝利総決起集会の開催
 - 各地協統一行動日で開催
 - 屋外開催、デモ行進による地域社会へのアピールに取り組む
 - 実施時期 東部地協 3月6日（金）18時00分～／JR鳥取駅前（風紋広場）
 - 中部地協 3月6日（金）18時30分～／倉吉体育文化会館
 - 西部地協 3月6日（金）18時15分～／JR米子駅前（だんだん広場）
 - ③連合鳥取女性委員会「3.8国際女性デー『学習会・街宣行動』」の開催
 - 実施時期 3月8日（日）予定
- 4) 経営者団体への対応

働き方改革、賃金・労働諸条件等について、鳥取県経営者協会との意見交換会を設定し、実効ある取り組みを行う。

 - 実施時期 2月13日（木）15時00分～／対翠閣
- 5) 行政機関への要請

情勢を見極めつつ、要請行動に取り組む。
- 6) 全国一斉労働相談

春季生活闘争時において、「全国一斉集中労働相談ダイヤル」に取り組む。

「STOP！雇用不安～辞めるしかない！？と悩んでいませんか～」

 - 電話相談配置期間 2月13日（木）～14日（金）10時00分～19時00分
 - 電話設置場所 「連合鳥取事務所」
 - 電話対応者 構成組織からの派遣者、専従者で対応する
 - 事前の周知活動 各地協事前PR、新聞広告、マスコミへのアピール
- 7) 街頭宣伝活動
 - ①連合方針に基づく社会的キャンペーン等について、街頭宣伝活動・チラシ配布行動に県連合・地協・女性委員会等で連携して取り組む。
 - ②街宣車による定例街宣行動は、3月上旬～4月中旬の期間の毎週設定し取り組む。
 - ③政策制度に関わる連合全体として取り組む行動については、官民一体となって積極的に対応していく。

資料

1. 連合鳥取個別賃金実態調査（2019年10月）結果
2. 単身者の最低生計費をクリアする賃金水準（連合リビングウェイジ）の設定
3. 費目別・世帯人数別標準生計費（平成28年、29年、30年）
4. 連合鳥取2014～2019春闘 回答・妥結（加重平均）
5. 連合「地域ミニマム運動」賃金実態調査集計結果の見方
6. 連合鳥取2020春季生活闘争の取り組み日程表

連合鳥取個別賃金実態調査(2019年10月結果)

【協力いただいた産別】

| 産別名 | 組合数 | 男 | 女 | 男女計 |
|---------|-----|-------|-------|-------|
| 自治労 | 11 | 274 | 70 | 344 |
| U Aゼンセン | 2 | 39 | 102 | 141 |
| 電機連合 | 8 | 758 | 339 | 1,097 |
| JAM | 8 | 892 | 114 | 1,006 |
| JR連合 | 2 | 105 | 9 | 114 |
| 紙パ連合 | 2 | 323 | 44 | 367 |
| 全国農団労 | 7 | 297 | 220 | 517 |
| 運輸労連 | 2 | 33 | 0 | 33 |
| 私鉄総連 | 1 | 217 | 47 | 264 |
| フード連合 | 1 | 140 | 70 | 210 |
| 合 計 | 44 | 3,078 | 1,015 | 4,093 |

回答者の構成

| 業種 | 規模 | 男 | 女 | 男女計 |
|-----------|----------|-------|-------|-------|
| 製造業計 | 29人以下 | 10 | 0 | 10 |
| | 30～99人 | 174 | 52 | 226 |
| | 100～299人 | 697 | 307 | 1,004 |
| | 300～999人 | 951 | 265 | 1,216 |
| | 1,000人以上 | 0 | 0 | 0 |
| 製造業計 | | 1,832 | 624 | 2,456 |
| 交通・運輸業計 | 29人以下 | 1 | 1 | 2 |
| | 30～99人 | 36 | 1 | 37 |
| | 100～299人 | 304 | 47 | 351 |
| | 300～999人 | 245 | 51 | 296 |
| | 1,000人以上 | 0 | 0 | 0 |
| 交通・運輸業計 | | 586 | 100 | 686 |
| 商業・サービス業計 | 29人以下 | 5 | 0 | 5 |
| | 30～99人 | 151 | 85 | 236 |
| | 100～299人 | 227 | 9 | 236 |
| | 300～999人 | 277 | 197 | 474 |
| | 1,000人以上 | 0 | 0 | 0 |
| 商業・サービス業計 | | 660 | 291 | 951 |
| 全産業計 | 29人以下 | 16 | 1 | 17 |
| | 30～99人 | 361 | 138 | 499 |
| | 100～299人 | 1,228 | 363 | 1,591 |
| | 300～999人 | 1,473 | 513 | 1,986 |
| | 1,000人以上 | 0 | 0 | 0 |
| 全産業計 | | 3,078 | 1,015 | 4,093 |

年齢別賃金特性値表

単位=千円

全産業・男女計

連合鳥取2019年度

| 年齢 | 人数 | 平均 | 最小 | 第1 | | 中位 | 第3 | | 最大 | 第1十分位 | | 第1四分位 | | 中位 | |
|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | 十分位 | 四分位 | | 四分位 | 十分位 | | 3次回帰 | 1次回帰 | 3次回帰 | 1次回帰 | 3次回帰 | 1次回帰 |
| 15 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | 20 | 150.5 | 131.5 | 148.5 | 148.5 | 149.3 | 151.9 | 154.9 | 170.9 | 146.6 | | 148.6 | | 148.7 | |
| 19 | 56 | 153.7 | 131.5 | 146.1 | 150.7 | 151.9 | 155.2 | 167.0 | 180.9 | 148.2 | | 150.9 | | 152.1 | |
| 20 | 55 | 154.9 | 135.3 | 146.3 | 152.5 | 155.0 | 158.3 | 161.5 | 174.2 | 149.9 | 151.0 | 153.3 | 154.1 | 155.5 | 155.8 |
| 21 | 73 | 161.1 | 138.9 | 153.7 | 156.2 | 159.2 | 164.3 | 168.2 | 199.0 | 151.7 | 152.7 | 155.9 | 156.7 | 159.0 | 159.4 |
| 22 | 66 | 163.7 | 141.2 | 149.7 | 157.6 | 162.5 | 171.1 | 181.6 | 192.2 | 153.5 | 154.5 | 158.5 | 159.3 | 162.6 | 163.0 |
| 23 | 66 | 170.7 | 145.4 | 159.7 | 163.1 | 167.5 | 173.9 | 189.7 | 206.4 | 155.4 | 156.2 | 161.1 | 161.9 | 166.2 | 166.6 |
| 24 | 74 | 172.5 | 142.3 | 158.6 | 163.4 | 168.9 | 177.2 | 194.9 | 223.0 | 157.3 | 157.9 | 163.8 | 164.4 | 169.8 | 170.2 |
| 25 | 82 | 176.5 | 149.1 | 163.2 | 168.4 | 172.9 | 179.5 | 194.8 | 249.5 | 159.2 | 159.7 | 166.6 | 167.0 | 173.5 | 173.8 |
| 26 | 83 | 181.1 | 143.1 | 163.7 | 169.1 | 176.3 | 186.5 | 201.2 | 254.6 | 161.2 | 161.4 | 169.4 | 169.6 | 177.2 | 177.4 |
| 27 | 79 | 181.2 | 140.4 | 158.9 | 172.7 | 179.9 | 190.5 | 206.3 | 234.8 | 163.2 | 163.2 | 172.2 | 172.2 | 180.9 | 181.0 |
| 28 | 84 | 184.5 | 143.7 | 159.9 | 172.2 | 182.6 | 194.0 | 212.1 | 259.7 | 165.2 | 164.9 | 175.0 | 174.7 | 184.7 | 184.6 |
| 29 | 113 | 194.9 | 142.3 | 169.3 | 181.1 | 192.7 | 206.4 | 221.8 | 272.8 | 167.2 | 166.7 | 177.8 | 177.3 | 188.4 | 188.3 |
| 30 | 83 | 195.6 | 150.6 | 170.7 | 179.9 | 194.3 | 208.3 | 217.4 | 264.8 | 169.2 | 168.4 | 180.6 | 179.9 | 192.1 | 191.9 |
| 31 | 94 | 196.7 | 151.0 | 173.0 | 180.7 | 190.0 | 211.1 | 223.7 | 294.0 | 171.1 | 170.2 | 183.4 | 182.5 | 195.9 | 195.5 |
| 32 | 109 | 204.6 | 150.5 | 173.2 | 185.7 | 200.9 | 220.3 | 240.8 | 299.5 | 173.0 | 171.9 | 186.1 | 185.0 | 199.6 | 199.1 |
| 33 | 98 | 205.4 | 125.0 | 175.5 | 188.9 | 202.8 | 223.0 | 236.9 | 311.6 | 174.9 | 173.7 | 188.8 | 187.6 | 203.3 | 202.7 |
| 34 | 131 | 213.3 | 125.0 | 176.3 | 192.6 | 210.6 | 228.6 | 253.2 | 367.3 | 176.7 | 175.4 | 191.4 | 190.2 | 206.9 | 206.3 |
| 35 | 112 | 221.2 | 141.8 | 184.4 | 199.0 | 217.3 | 236.7 | 272.9 | 342.3 | 178.4 | 177.1 | 194.0 | 192.8 | 210.5 | 209.9 |
| 36 | 114 | 219.6 | 138.0 | 177.9 | 196.0 | 218.4 | 240.0 | 261.7 | 364.3 | 180.0 | 178.9 | 196.4 | 195.3 | 214.1 | 213.5 |
| 37 | 144 | 220.8 | 155.0 | 184.1 | 200.8 | 216.4 | 236.1 | 259.5 | 357.4 | 181.6 | 180.6 | 198.8 | 197.9 | 217.6 | 217.1 |
| 38 | 106 | 218.5 | 125.0 | 171.4 | 191.5 | 213.0 | 239.7 | 268.1 | 361.0 | 183.1 | 182.4 | 201.0 | 200.5 | 221.0 | 220.8 |
| 39 | 172 | 232.1 | 148.5 | 181.4 | 202.7 | 223.6 | 250.5 | 292.5 | 388.5 | 184.4 | 184.1 | 203.1 | 203.0 | 224.4 | 224.4 |
| 40 | 158 | 228.5 | 154.1 | 186.0 | 203.6 | 224.5 | 243.8 | 273.7 | 386.8 | 185.7 | 185.9 | 205.1 | 205.6 | 227.7 | 228.0 |
| 41 | 139 | 235.2 | 146.7 | 185.6 | 205.3 | 226.1 | 253.6 | 284.3 | 418.1 | 186.8 | 187.6 | 207.0 | 208.2 | 230.9 | 231.6 |
| 42 | 127 | 237.5 | 155.2 | 184.0 | 211.8 | 235.6 | 255.1 | 283.7 | 400.5 | 187.7 | | 208.7 | | 234.0 | |
| 43 | 119 | 239.9 | 148.1 | 191.7 | 208.9 | 230.7 | 268.9 | 292.5 | 439.1 | 188.6 | | 210.2 | | 237.0 | |
| 44 | 129 | 255.3 | 143.8 | 194.3 | 219.0 | 246.3 | 297.2 | 322.0 | 442.3 | 189.2 | | 211.5 | | 239.9 | |
| 45 | 139 | 251.4 | 138.3 | 190.2 | 213.9 | 245.8 | 287.1 | 308.7 | 463.8 | 189.7 | | 212.6 | | 242.7 | |
| 46 | 135 | 257.6 | 148.5 | 199.2 | 219.9 | 248.6 | 284.9 | 327.5 | 459.1 | 190.0 | | 213.5 | | 245.4 | |
| 47 | 135 | 250.5 | 148.4 | 180.3 | 203.9 | 245.5 | 283.3 | 316.3 | 458.0 | 190.2 | | 214.3 | | 247.9 | |
| 48 | 98 | 264.7 | 145.6 | 196.4 | 219.0 | 256.4 | 289.8 | 331.4 | 445.2 | 190.1 | | 214.7 | | 250.3 | |
| 49 | 95 | 252.9 | 141.8 | 184.3 | 212.0 | 245.3 | 279.8 | 323.5 | 446.3 | 189.8 | | 215.0 | | 252.5 | |
| 50 | 88 | 259.4 | 140.8 | 189.9 | 211.6 | 254.4 | 304.1 | 332.6 | 402.2 | 189.3 | | 215.0 | | 254.6 | |
| 51 | 94 | 259.7 | 138.8 | 184.4 | 211.4 | 259.6 | 301.9 | 331.3 | 449.8 | 188.5 | | 214.7 | | 256.5 | |
| 52 | 87 | 266.0 | 137.8 | 191.2 | 215.4 | 255.4 | 303.2 | 360.8 | 440.5 | 187.6 | | 214.1 | | 258.3 | |
| 53 | 90 | 279.0 | 137.8 | 192.4 | 223.2 | 267.1 | 323.4 | 400.4 | 452.1 | 186.3 | | 213.3 | | 259.8 | |
| 54 | 75 | 265.2 | 147.3 | 185.8 | 207.4 | 255.3 | 307.2 | 364.4 | 447.5 | 184.8 | | 212.1 | | 261.2 | |
| 55 | 90 | 268.2 | 140.8 | 177.3 | 210.0 | 262.8 | 312.4 | 362.7 | 447.5 | 183.1 | | 210.6 | | 262.4 | |
| 56 | 84 | 267.9 | 145.0 | 172.4 | 207.5 | 260.9 | 311.6 | 394.8 | 477.2 | 181.0 | | 208.8 | | 263.4 | |
| 57 | 78 | 267.4 | 138.0 | 178.9 | 201.4 | 250.3 | 325.3 | 364.2 | 484.5 | | | | | | |
| 58 | 50 | 254.0 | 147.8 | 175.9 | 209.9 | 235.1 | 281.7 | 348.6 | 476.0 | | | | | | |
| 59 | 50 | 269.6 | 140.8 | 166.8 | 214.2 | 268.8 | 316.5 | 365.9 | 470.1 | | | | | | |
| 60 | 6 | 193.5 | 148.4 | 151.0 | 161.1 | 184.3 | 185.8 | 245.3 | 304.7 | | | | | | |
| 61 | 3 | 193.6 | 184.2 | 184.4 | 184.6 | 185.0 | 198.3 | 206.2 | 211.5 | | | | | | |
| 62 | 5 | 174.8 | 146.2 | 146.2 | 146.2 | 183.9 | 186.0 | 201.3 | 211.5 | | | | | | |
| 63 | 2 | 211.8 | 178.9 | 185.5 | 195.3 | 211.8 | 228.2 | 238.0 | 244.6 | | | | | | |
| 64 | 3 | 191.2 | 148.6 | 161.1 | 180.0 | 211.5 | 212.5 | 213.1 | 213.5 | | | | | | |
| 65 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 4093 | 225.9 | 125.0 | 163.2 | 182.9 | 214.4 | 253.0 | 303.1 | 484.5 | | | | | | |

四分位回帰 3次式(18-55歳対象) $Y = -0.00198075X^3 + 0.164282X^2 - 1.7211X + 137.89$ $R^2 = 0.9709$
1次式(20-40歳対象) $Y = 2.5741X + 102.66$ $R^2 = 0.9670$
十分位回帰 3次式(18-55歳対象) $Y = -0.00169333X^3 + 0.138753X^2 - 1.7971X + 143.91$ $R^2 = 0.9120$
1次式(20-40歳対象) $Y = 1.7452X + 116.06$ $R^2 = 0.8735$
中位回帰 3次式(18-55歳対象) $Y = -0.00126439X^3 + 0.108448X^2 + 0.6421X + 109.42$ $R^2 = 0.9887$
1次式(20-40歳対象) $Y = 3.6109X + 83.54$ $R^2 = 0.9768$

年齢別賃金特性値表

単位=千円

全産業・男

連合鳥取2019年度

| 年齢 | 人数 | 平均 | 最小 | 第1 | 第1 | 中位 | 第3 | 第9 | 最大 | 第1十分位 | | 第1四分位 | | 中位 | |
|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | 十分位 | 四分位 | | 四分位 | 十分位 | | 3次回帰 | 1次回帰 | 3次回帰 | 1次回帰 | 3次回帰 | 1次回帰 |
| 15 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | 16 | 149.7 | 131.5 | 148.5 | 148.5 | 148.5 | 150.1 | 152.6 | 170.9 | 147.4 | | 147.9 | | 146.3 | |
| 19 | 42 | 153.7 | 131.5 | 146.4 | 150.7 | 151.7 | 155.9 | 170.1 | 174.0 | 149.1 | | 150.5 | | 150.7 | |
| 20 | 36 | 155.2 | 135.3 | 151.0 | 153.3 | 154.6 | 158.3 | 161.7 | 174.2 | 150.9 | 151.1 | 153.2 | 153.2 | 155.0 | 155.6 |
| 21 | 48 | 162.0 | 138.9 | 154.6 | 156.3 | 159.2 | 164.5 | 177.5 | 199.0 | 152.8 | 153.1 | 155.9 | 156.0 | 159.2 | 159.3 |
| 22 | 45 | 165.2 | 142.2 | 156.4 | 157.9 | 163.8 | 171.7 | 183.0 | 192.2 | 154.7 | 155.2 | 158.7 | 158.8 | 163.4 | 163.0 |
| 23 | 45 | 171.5 | 145.4 | 158.4 | 163.6 | 167.7 | 174.0 | 196.8 | 206.4 | 156.7 | 157.2 | 161.5 | 161.6 | 167.4 | 166.8 |
| 24 | 51 | 174.9 | 142.3 | 154.9 | 163.8 | 171.5 | 179.4 | 198.1 | 223.0 | 158.7 | 159.2 | 164.4 | 164.4 | 171.4 | 170.5 |
| 25 | 53 | 174.9 | 152.1 | 162.7 | 168.2 | 173.2 | 179.6 | 192.6 | 223.4 | 160.8 | 161.2 | 167.3 | 167.2 | 175.2 | 174.2 |
| 26 | 59 | 181.5 | 152.6 | 164.8 | 168.7 | 175.5 | 186.8 | 201.4 | 254.6 | 162.9 | 163.2 | 170.2 | 170.0 | 179.0 | 177.9 |
| 27 | 58 | 182.7 | 143.2 | 161.7 | 172.8 | 179.2 | 192.8 | 209.6 | 234.8 | 165.0 | 165.2 | 173.0 | 172.8 | 182.8 | 181.7 |
| 28 | 68 | 185.3 | 143.7 | 160.6 | 172.2 | 182.6 | 194.4 | 213.8 | 259.7 | 167.1 | 167.2 | 175.9 | 175.6 | 186.5 | 185.4 |
| 29 | 91 | 196.6 | 148.8 | 169.2 | 181.2 | 193.1 | 212.0 | 225.7 | 272.8 | 169.2 | 169.2 | 178.8 | 178.4 | 190.1 | 189.1 |
| 30 | 63 | 199.4 | 151.6 | 176.5 | 182.9 | 200.4 | 211.2 | 222.8 | 264.8 | 171.3 | 171.3 | 181.7 | 181.2 | 193.7 | 192.9 |
| 31 | 73 | 199.0 | 163.5 | 175.5 | 180.9 | 193.7 | 214.6 | 226.6 | 294.0 | 173.5 | 173.3 | 184.6 | 184.0 | 197.2 | 196.6 |
| 32 | 87 | 204.3 | 150.5 | 173.2 | 185.2 | 197.6 | 220.2 | 245.2 | 299.5 | 175.6 | 175.3 | 187.4 | 186.8 | 200.7 | 200.3 |
| 33 | 79 | 203.1 | 125.0 | 176.1 | 188.8 | 199.4 | 218.4 | 235.6 | 296.4 | 177.6 | 177.3 | 190.2 | 189.6 | 204.2 | 204.1 |
| 34 | 108 | 213.0 | 125.0 | 180.5 | 192.9 | 209.9 | 228.8 | 253.4 | 318.7 | 179.7 | 179.3 | 193.0 | 192.4 | 207.7 | 207.8 |
| 35 | 85 | 222.9 | 163.7 | 189.9 | 200.7 | 217.3 | 235.0 | 274.3 | 342.3 | 181.7 | 181.3 | 195.7 | 195.2 | 211.1 | 211.5 |
| 36 | 93 | 222.7 | 150.4 | 178.3 | 196.8 | 223.3 | 241.7 | 263.9 | 364.3 | 183.6 | 183.3 | 198.3 | 198.0 | 214.6 | 215.2 |
| 37 | 113 | 221.5 | 155.7 | 188.2 | 204.1 | 217.3 | 235.9 | 255.7 | 357.4 | 185.5 | 185.3 | 200.9 | 200.8 | 218.0 | 219.0 |
| 38 | 84 | 223.8 | 125.0 | 184.1 | 200.4 | 214.1 | 246.0 | 278.9 | 361.0 | 187.3 | 187.4 | 203.5 | 203.6 | 221.5 | 222.7 |
| 39 | 138 | 238.2 | 148.5 | 190.1 | 209.0 | 229.3 | 254.3 | 300.2 | 384.0 | 189.1 | 189.4 | 205.9 | 206.4 | 224.9 | 226.4 |
| 40 | 132 | 231.7 | 154.1 | 189.6 | 205.6 | 227.7 | 244.2 | 276.6 | 386.8 | 190.8 | 191.4 | 208.3 | 209.2 | 228.4 | 230.2 |
| 41 | 106 | 238.4 | 148.5 | 193.1 | 209.3 | 231.0 | 256.7 | 285.8 | 418.1 | 192.4 | 193.4 | 210.6 | 212.0 | 231.9 | 233.9 |
| 42 | 104 | 240.4 | 155.2 | 186.8 | 215.9 | 236.7 | 265.0 | 285.7 | 400.5 | 193.9 | | 212.8 | | 235.4 | |
| 43 | 100 | 246.4 | 150.0 | 198.1 | 213.3 | 237.6 | 275.0 | 296.3 | 439.1 | 195.3 | | 214.9 | | 239.0 | |
| 44 | 107 | 259.0 | 143.8 | 197.7 | 221.5 | 247.5 | 290.5 | 322.0 | 442.3 | 196.6 | | 216.9 | | 242.5 | |
| 45 | 101 | 256.3 | 148.5 | 200.5 | 220.8 | 249.2 | 288.0 | 308.9 | 463.8 | 197.8 | | 218.7 | | 246.2 | |
| 46 | 101 | 261.4 | 148.5 | 209.6 | 227.7 | 250.5 | 292.3 | 324.5 | 459.1 | 198.8 | | 220.5 | | 249.9 | |
| 47 | 98 | 259.8 | 148.4 | 183.2 | 216.5 | 254.6 | 285.7 | 323.4 | 458.0 | 199.7 | | 222.1 | | 253.6 | |
| 48 | 72 | 275.0 | 158.5 | 213.7 | 236.0 | 262.7 | 294.9 | 362.9 | 445.1 | 200.5 | | 223.5 | | 257.4 | |
| 49 | 71 | 259.2 | 170.7 | 194.4 | 216.5 | 247.6 | 289.5 | 328.1 | 446.3 | 201.1 | | 224.9 | | 261.3 | |
| 50 | 70 | 272.5 | 168.5 | 204.3 | 227.3 | 269.3 | 316.7 | 349.6 | 402.2 | 201.6 | | 226.0 | | 265.3 | |
| 51 | 71 | 262.6 | 139.0 | 187.2 | 212.2 | 259.1 | 311.6 | 340.8 | 449.8 | 201.9 | | 227.1 | | 269.3 | |
| 52 | 63 | 273.3 | 179.8 | 207.4 | 220.8 | 266.6 | 322.4 | 355.4 | 440.5 | 202.1 | | 227.9 | | 273.5 | |
| 53 | 64 | 291.5 | 144.4 | 209.0 | 231.3 | 278.0 | 326.6 | 400.4 | 447.5 | 202.0 | | 228.6 | | 277.7 | |
| 54 | 47 | 286.9 | 160.5 | 203.2 | 222.9 | 285.8 | 331.0 | 404.3 | 447.5 | 201.8 | | 229.1 | | 282.1 | |
| 55 | 56 | 290.5 | 148.4 | 198.5 | 243.6 | 294.1 | 327.2 | 381.8 | 447.5 | 201.4 | | 229.4 | | 286.5 | |
| 56 | 51 | 279.0 | 154.8 | 179.0 | 218.4 | 268.0 | 323.0 | 400.4 | 477.2 | 200.8 | | 229.5 | | 291.1 | |
| 57 | 48 | 281.9 | 154.3 | 180.2 | 215.3 | 280.7 | 349.3 | 366.1 | 484.5 | | | | | | |
| 58 | 30 | 256.6 | 172.3 | 188.9 | 221.4 | 237.6 | 281.7 | 348.2 | 394.2 | | | | | | |
| 59 | 34 | 277.6 | 151.8 | 210.6 | 229.3 | 275.4 | 328.1 | 365.6 | 369.4 | | | | | | |
| 60 | 6 | 193.5 | 148.4 | 151.0 | 161.1 | 184.3 | 185.8 | 245.3 | 304.7 | | | | | | |
| 61 | 2 | 184.6 | 184.2 | 184.3 | 184.4 | 184.6 | 184.8 | 184.9 | 185.0 | | | | | | |
| 62 | 5 | 174.8 | 146.2 | 146.2 | 146.2 | 183.9 | 186.0 | 201.3 | 211.5 | | | | | | |
| 63 | 2 | 211.8 | 178.9 | 185.5 | 195.3 | 211.8 | 228.2 | 238.0 | 244.6 | | | | | | |
| 64 | 2 | 180.0 | 148.6 | 154.8 | 164.3 | 180.0 | 195.8 | 205.2 | 211.5 | | | | | | |
| 65 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 3078 | 230.1 | 125.0 | 166.0 | 186.5 | 218.4 | 257.9 | 309.0 | 484.5 | | | | | | |

四分位回帰

3次式(18-55歳対象)
1次式(20-40歳対象) $Y = -0.00115915X^3 + 0.094779X^2 + 0.3143X + 118.28$
 $Y = 2.7956X + 97.33$ $R^2 = 0.9632$

十分位回帰

3次式(18-55歳対象)
1次式(20-40歳対象) $Y = -0.00127617X^3 + 0.11002X^2 - 1.0353X + 137.84$
 $Y = 2.0129X + 110.87$ $R^2 = 0.9812$

中位回帰

3次式(18-55歳対象)
1次式(20-40歳対象) $Y = 0.00102576X^3 - 0.112083X^2 + 7.5212X + 41.22$
 $Y = 3.73X + 80.97$ $R^2 = 0.9096$ $R^2 = 0.9266$ $R^2 = 0.9865$ $R^2 = 0.9703$

年齢別賃金特性値表

単位=千円

全産業・女

連合鳥取2019年度

| 年齢 | 人数 | 平均 | 最小 | 第1 | | 中位 | 第3 | | 最大 | 第1十分位 | | 第1四分位 | | 中位 | |
|----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | 十分位 | 四分位 | | 四分位 | 十分位 | | 3次回帰 | 1次回帰 | 3次回帰 | 1次回帰 | 3次回帰 | 1次回帰 |
| 15 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | 4 | 153.8 | 150.6 | 151.9 | 153.8 | 154.9 | 154.9 | 154.9 | 154.9 | 148.6 | | 147.6 | | 150.1 | |
| 19 | 14 | 153.8 | 140.8 | 146.3 | 150.2 | 153.5 | 155.0 | 158.0 | 180.9 | 149.5 | | 150.5 | | 153.6 | |
| 20 | 19 | 154.4 | 140.3 | 146.1 | 151.9 | 156.0 | 159.3 | 159.8 | 161.5 | 150.5 | 152.7 | 153.4 | 157.2 | 157.1 | 160.3 |
| 21 | 25 | 159.2 | 141.0 | 150.7 | 154.6 | 160.0 | 161.5 | 164.4 | 189.7 | 151.6 | 153.7 | 156.2 | 158.9 | 160.6 | 163.0 |
| 22 | 21 | 160.3 | 141.2 | 144.2 | 150.7 | 161.3 | 170.3 | 171.7 | 191.3 | 152.8 | 154.6 | 158.9 | 160.6 | 164.0 | 165.8 |
| 23 | 21 | 168.9 | 159.5 | 160.0 | 160.4 | 166.2 | 173.9 | 177.8 | 196.0 | 154.0 | 155.6 | 161.5 | 162.4 | 167.4 | 168.5 |
| 24 | 23 | 167.1 | 154.6 | 160.4 | 162.8 | 166.5 | 169.4 | 177.2 | 181.4 | 155.3 | 156.5 | 164.0 | 164.1 | 170.8 | 171.2 |
| 25 | 29 | 179.4 | 149.1 | 163.3 | 169.2 | 172.8 | 179.0 | 210.6 | 249.5 | 156.6 | 157.5 | 166.5 | 165.8 | 174.1 | 174.0 |
| 26 | 24 | 180.0 | 143.1 | 161.4 | 169.6 | 176.8 | 186.3 | 199.5 | 251.4 | 158.0 | 158.5 | 168.9 | 167.6 | 177.4 | 176.7 |
| 27 | 21 | 177.0 | 140.4 | 149.7 | 171.3 | 180.4 | 187.0 | 192.5 | 213.8 | 159.4 | 159.4 | 171.2 | 169.3 | 180.6 | 179.4 |
| 28 | 16 | 181.0 | 147.9 | 157.0 | 173.2 | 182.7 | 192.7 | 199.5 | 210.1 | 160.8 | 160.4 | 173.4 | 171.0 | 183.7 | 182.2 |
| 29 | 22 | 188.2 | 142.3 | 171.7 | 181.1 | 187.4 | 196.5 | 216.3 | 221.9 | 162.1 | 161.3 | 175.5 | 172.8 | 186.8 | 184.9 |
| 30 | 20 | 183.5 | 150.6 | 164.5 | 172.3 | 180.5 | 195.6 | 206.3 | 216.5 | 163.5 | 162.3 | 177.5 | 174.5 | 189.9 | 187.6 |
| 31 | 21 | 188.3 | 151.0 | 166.0 | 175.1 | 184.7 | 198.9 | 218.7 | 226.5 | 164.9 | 163.2 | 179.5 | 176.2 | 192.8 | 190.4 |
| 32 | 22 | 205.5 | 150.9 | 174.4 | 189.9 | 211.2 | 219.8 | 236.5 | 270.6 | 166.2 | 164.2 | 181.3 | 178.0 | 195.7 | 193.1 |
| 33 | 19 | 214.9 | 141.0 | 176.0 | 189.4 | 218.9 | 228.4 | 268.4 | 311.6 | 167.5 | 165.2 | 183.1 | 179.7 | 198.5 | 195.8 |
| 34 | 23 | 214.7 | 153.0 | 170.8 | 193.9 | 212.1 | 223.6 | 229.2 | 367.3 | 168.7 | 166.1 | 184.7 | 181.4 | 201.2 | 198.6 |
| 35 | 27 | 215.9 | 141.8 | 160.9 | 188.0 | 214.8 | 242.4 | 256.8 | 321.4 | 169.9 | 167.1 | 186.3 | 183.1 | 203.9 | 201.3 |
| 36 | 21 | 205.8 | 138.0 | 168.8 | 187.5 | 209.9 | 229.2 | 242.3 | 266.6 | 171.0 | 168.0 | 187.7 | 184.9 | 206.4 | 204.0 |
| 37 | 31 | 218.4 | 155.0 | 172.0 | 188.6 | 210.0 | 233.9 | 273.0 | 353.5 | 172.0 | 169.0 | 189.1 | 186.6 | 208.8 | 206.8 |
| 38 | 22 | 198.5 | 139.2 | 145.9 | 169.7 | 189.1 | 224.4 | 239.7 | 347.2 | 172.9 | 170.0 | 190.3 | 188.3 | 211.1 | 209.5 |
| 39 | 34 | 207.0 | 152.3 | 169.0 | 178.0 | 194.8 | 223.9 | 258.9 | 388.5 | 173.8 | 170.9 | 191.5 | 190.1 | 213.3 | 212.2 |
| 40 | 26 | 212.2 | 160.0 | 175.4 | 187.1 | 204.3 | 233.4 | 264.1 | 275.3 | 174.5 | 171.9 | 192.5 | 191.8 | 215.4 | 215.0 |
| 41 | 33 | 224.9 | 146.7 | 181.6 | 194.1 | 215.8 | 234.4 | 273.9 | 390.7 | 175.0 | 172.8 | 193.4 | 193.5 | 217.3 | 217.7 |
| 42 | 23 | 223.9 | 155.7 | 179.8 | 208.6 | 228.8 | 236.9 | 242.2 | 331.7 | 175.5 | | 194.2 | | 219.1 | |
| 43 | 19 | 205.8 | 148.1 | 163.8 | 192.4 | 203.7 | 224.8 | 241.8 | 275.7 | 175.8 | | 194.9 | | 220.8 | |
| 44 | 22 | 237.2 | 150.9 | 176.6 | 206.7 | 238.3 | 267.1 | 284.0 | 331.5 | 175.9 | | 195.5 | | 222.4 | |
| 45 | 38 | 238.2 | 138.3 | 177.7 | 206.7 | 229.5 | 271.5 | 293.3 | 399.6 | 175.9 | | 196.0 | | 223.8 | |
| 46 | 34 | 246.5 | 161.8 | 189.5 | 203.4 | 232.4 | 266.9 | 344.0 | 391.4 | 175.7 | | 196.3 | | 225.0 | |
| 47 | 37 | 226.1 | 164.0 | 171.8 | 184.2 | 219.5 | 256.1 | 296.2 | 342.4 | 175.4 | | 196.5 | | 226.1 | |
| 48 | 26 | 236.5 | 145.6 | 189.0 | 198.6 | 219.5 | 248.4 | 306.4 | 445.2 | 174.8 | | 196.6 | | 227.0 | |
| 49 | 24 | 234.3 | 141.8 | 180.7 | 197.8 | 226.5 | 262.5 | 297.2 | 387.2 | 174.0 | | 196.6 | | 227.8 | |
| 50 | 18 | 208.6 | 140.8 | 165.7 | 180.2 | 212.1 | 238.8 | 248.2 | 259.1 | 173.0 | | 196.5 | | 228.4 | |
| 51 | 23 | 250.6 | 138.8 | 174.3 | 203.9 | 260.9 | 285.0 | 304.6 | 406.6 | 171.8 | | 196.2 | | 228.8 | |
| 52 | 24 | 246.8 | 137.8 | 166.1 | 191.4 | 224.5 | 294.3 | 382.8 | 406.6 | 170.3 | | 195.8 | | 229.1 | |
| 53 | 26 | 248.3 | 137.8 | 157.6 | 193.3 | 251.8 | 273.8 | 346.3 | 452.1 | 168.6 | | 195.3 | | 229.1 | |
| 54 | 28 | 228.8 | 147.3 | 181.2 | 194.1 | 210.9 | 250.6 | 297.4 | 360.7 | 166.7 | | 194.6 | | 229.0 | |
| 55 | 34 | 231.5 | 140.8 | 155.7 | 199.7 | 222.6 | 247.9 | 330.6 | 418.4 | 164.4 | | 193.8 | | 228.6 | |
| 56 | 33 | 250.8 | 145.0 | 168.9 | 193.5 | 246.4 | 272.0 | 364.0 | 424.7 | 161.9 | | 192.9 | | 228.1 | |
| 57 | 30 | 244.1 | 138.0 | 177.7 | 193.0 | 228.6 | 276.2 | 336.5 | 435.3 | | | | | | |
| 58 | 20 | 250.0 | 147.8 | 157.2 | 198.7 | 231.9 | 282.0 | 360.1 | 476.0 | | | | | | |
| 59 | 16 | 252.7 | 140.8 | 145.5 | 163.9 | 258.4 | 285.7 | 399.2 | 470.1 | | | | | | |
| 60 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 61 | 1 | 211.5 | 211.5 | 211.5 | 211.5 | 211.5 | 211.5 | 211.5 | 211.5 | | | | | | |
| 62 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 63 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 64 | 1 | 213.5 | 213.5 | 213.5 | 213.5 | 213.5 | 213.5 | 213.5 | 213.5 | | | | | | |
| 65 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 1015 | 213.0 | 137.8 | 156.0 | 173.3 | 200.3 | 237.2 | 282.0 | 476.0 | | | | | | |

四分位回帰

3次式(18-55歳対象)

$$Y = -0.00028682X^3 - 0.020326X^2 + 3.9781X + 84.23$$

$$R^2 = 0.8078$$

1次式(20-40歳対象)

$$Y = 1.7307X + 122.57$$

$$R^2 = 0.6594$$

十分位回帰

3次式(18-55歳対象)

$$Y = -0.00171434X^3 + 0.143854X^2 - 2.6334X + 159.35$$

$$R^2 = 0.5280$$

1次式(20-40歳対象)

$$Y = 0.9592X + 133.51$$

$$R^2 = 0.3441$$

中位回帰

3次式(18-55歳対象)

$$Y = -0.000861X^3 + 0.041015X^2 + 2.8637X + 90.3$$

$$R^2 = 0.8250$$

1次式(20-40歳対象)

$$Y = 2.7345X + 105.6$$

$$R^2 = 0.7170$$

2017都道府県別リビングウエイジ
2019年度地域別最低賃金・2018年「賃金構造基本統計調査」との比較

リビングウエイジは、労働者が最低限の生活を営むのに必要な賃金水準を連合が独自に算出しているものです。さいたま市での調査にもとづき、マーケット・バスケット方式で算出したリビングウエイジ(単身者)は、172,488円(住居費以外126,217円+住居費46,271円)でした。これを各都道府県に換算すると…

| | | 2017都道府県別リビングウエイジ(LW) | | | | | 地域別最低賃金および賃金との比較 | | | | | | | |
|-----|-----|-----------------------|-------------------|----------|-------------------------------|-----------|------------------|----------|---------|-----------|-----------|-------|--------------------|-------|
| | | 時間額 (所定内) *1 | 時間額 (法定) *2 | 月額 *3 | さいたま市 (126,217円) (46,271円) | | 2019地域別最低賃金 | | | 2018高卒初任給 | | | 2018女性短時間労働者 | |
| | | | | | 修正した地域物価指数 | | 時間額 *6 | 月額 *7 | 対LW比率 | 月額 *8 | 時間額 *9 | 対LW比率 | 時間額 (所定内) *8 | 対LW比率 |
| | | | | | 住居費 以外 *4 | 住居費 *5 | | | | | | | | |
| | | さいたま市=100 | | (b) 円 | 円 | b/a | 円 | (c) 円 | c/a | (d) 円 | d/a | | | |
| 地賃A | 東京 | 1,120 | 1,050 | 183,000 | 100.3 | 121.9 | 1013 | 167,145 | 90.4 | 175,000 | 1,094 | 97.7 | 1,310 | 117.0 |
| | 神奈川 | 1,080 | 1,020 | 177,000 | 101.2 | 106.9 | 1011 | 166,815 | 93.6 | 174,200 | 1,082 | 100.2 | 1,226 | 113.5 |
| | 大阪 | 1,000 | 940 | 164,000 | 97.9 | 86.6 | 964 | 159,060 | 96.4 | 169,600 | 1,028 | 102.8 | 1,193 | 119.3 |
| | 愛知 | 980 | 920 | 160,000 | 96.5 | 81.6 | 926 | 152,790 | 94.5 | 168,200 | 1,032 | 105.3 | 1,114 | 113.7 |
| | 埼玉 | 1,020 | 960 | 167,000 | 98.5 | 93.1 | 926 | 152,790 | 90.8 | 169,500 | 1,034 | 101.3 | 1,097 | 107.5 |
| 地賃B | 千葉 | 1,010 | 950 | 165,000 | 97.8 | 90.0 | 923 | 152,295 | 91.4 | 170,800 | 1,035 | 102.5 | 1,131 | 112.0 |
| | 京都 | 1,000 | 940 | 164,000 | 98.9 | 85.0 | 909 | 149,985 | 90.9 | 170,200 | 1,032 | 103.2 | 1,135 | 113.5 |
| | 兵庫 | 1,000 | 940 | 164,000 | 98.6 | 85.3 | 899 | 148,335 | 89.9 | 168,000 | 1,024 | 102.4 | 1,130 | 113.0 |
| | 静岡 | 970 | 910 | 159,000 | 96.2 | 80.9 | 885 | 146,025 | 91.2 | 171,100 | 1,037 | 106.9 | 1,066 | 109.9 |
| | 滋賀 | 980 | 920 | 160,000 | 97.8 | 78.5 | 866 | 142,890 | 88.4 | 167,800 | 1,029 | 105.0 | 1,059 | 108.1 |
| | 茨城 | 950 | 890 | 155,000 | 95.7 | 73.3 | 849 | 140,085 | 89.4 | 167,500 | 1,015 | 106.9 | 1,054 | 110.9 |
| | 栃木 | 960 | 900 | 157,000 | 96.8 | 74.9 | 853 | 140,745 | 88.9 | 162,700 | 992 | 103.3 | 1,055 | 109.9 |
| | 広島 | 960 | 910 | 158,000 | 97.6 | 75.6 | 871 | 143,715 | 90.7 | 166,500 | 1,009 | 105.1 | 1,063 | 110.7 |
| | 長野 | 930 | 880 | 153,000 | 95.5 | 71.0 | 848 | 139,920 | 91.2 | 163,600 | 986 | 106.0 | 1,046 | 112.5 |
| | 富山 | 950 | 890 | 155,000 | 96.9 | 70.8 | 848 | 139,920 | 89.3 | 164,200 | 977 | 102.9 | 1,075 | 113.2 |
| | 三重 | 950 | 900 | 156,000 | 97.1 | 72.7 | 873 | 144,045 | 91.9 | 164,100 | 1,001 | 105.3 | 1,087 | 114.4 |
| | 山梨 | 940 | 890 | 154,000 | 96.7 | 68.1 | 837 | 138,105 | 89.0 | 166,800 | 1,011 | 107.5 | 1,033 | 109.9 |
| | 地賃C | 群馬 | 920 | 870 | 151,000 | 94.6 | 67.9 | 835 | 137,775 | 90.8 | 166,300 | 1,002 | 108.9 | 1,037 |
| 岡山 | | 950 | 890 | 155,000 | 96.5 | 72.6 | 833 | 137,445 | 87.7 | 165,700 | 1,010 | 106.4 | 1,051 | 110.6 |
| 石川 | | 960 | 900 | 157,000 | 98.7 | 70.7 | 832 | 137,280 | 86.7 | 168,200 | 1,013 | 105.5 | 1,041 | 108.4 |
| 香川 | | 950 | 890 | 155,000 | 97.0 | 71.0 | 818 | 134,970 | 86.1 | 167,200 | 1,007 | 106.0 | 1,059 | 111.5 |
| 奈良 | | 940 | 890 | 154,000 | 94.9 | 74.7 | 837 | 138,105 | 89.0 | 165,500 | 985 | 104.8 | 1,106 | 117.7 |
| 宮城 | | 960 | 910 | 158,000 | 96.6 | 77.3 | 824 | 135,960 | 85.8 | 157,500 | 960 | 100.0 | 1,152 | 120.0 |
| 福岡 | | 950 | 890 | 155,000 | 95.7 | 73.7 | 841 | 138,765 | 88.5 | 161,700 | 986 | 103.8 | 1,020 | 107.4 |
| 山口 | | 930 | 880 | 153,000 | 97.7 | 63.5 | 829 | 136,785 | 89.1 | 164,500 | 991 | 106.6 | 994 | 106.9 |
| 岐阜 | | 940 | 890 | 154,000 | 95.4 | 71.6 | 851 | 140,415 | 90.5 | 166,900 | 1,005 | 107.0 | 1,040 | 110.6 |
| 福井 | | 950 | 900 | 156,000 | 97.7 | 71.0 | 829 | 136,785 | 87.3 | 167,100 | 995 | 104.7 | 1,035 | 108.9 |
| 和歌山 | | 950 | 890 | 155,000 | 98.6 | 66.4 | 830 | 136,950 | 87.4 | 159,700 | 951 | 100.1 | 1,037 | 109.2 |
| 北海道 | | 940 | 890 | 154,000 | 98.1 | 65.7 | 861 | 142,065 | 91.6 | 158,600 | 961 | 102.3 | 1,024 | 108.9 |
| 新潟 | | 950 | 890 | 155,000 | 97.2 | 70.2 | 830 | 136,950 | 87.4 | 164,700 | 986 | 103.8 | 1,018 | 107.2 |
| 徳島 | | 940 | 890 | 154,000 | 97.7 | 66.0 | 793 | 130,845 | 84.4 | 154,500 | 936 | 99.6 | 1,049 | 111.6 |
| 地賃D | 福島 | 940 | 890 | 154,000 | 98.2 | 65.6 | 798 | 131,670 | 84.9 | 158,900 | 951 | 101.2 | 957 | 101.8 |
| | 大分 | 920 | 870 | 151,000 | 96.2 | 64.3 | 790 | 130,350 | 85.9 | 156,400 | 948 | 103.0 | 962 | 104.6 |
| | 山形 | 950 | 900 | 156,000 | 99.1 | 67.7 | 790 | 130,350 | 83.2 | 151,500 | 907 | 95.5 | 932 | 98.1 |
| | 愛媛 | 940 | 890 | 154,000 | 97.3 | 66.6 | 790 | 130,350 | 84.0 | 161,400 | 966 | 102.8 | 1,029 | 109.5 |
| | 島根 | 930 | 880 | 153,000 | 98.5 | 61.7 | 790 | 130,350 | 84.9 | 155,800 | 939 | 100.9 | 985 | 105.9 |
| | 鳥取 | 930 | 880 | 153,000 | 97.2 | 65.0 | 790 | 130,350 | 84.9 | 153,300 | 923 | 99.3 | 960 | 103.2 |
| | 熊本 | 930 | 880 | 153,000 | 97.6 | 65.3 | 790 | 130,350 | 84.9 | 156,500 | 937 | 100.8 | 947 | 101.8 |
| | 長崎 | 950 | 890 | 155,000 | 98.2 | 66.7 | 790 | 130,350 | 83.2 | 148,500 | 895 | 94.2 | 976 | 102.7 |
| | 高知 | 930 | 870 | 152,000 | 97.9 | 62.4 | 790 | 130,350 | 84.9 | 154,100 | 928 | 99.8 | 1,006 | 108.2 |
| | 岩手 | 930 | 870 | 152,000 | 97.0 | 64.8 | 790 | 130,350 | 84.9 | 148,800 | 891 | 95.8 | 940 | 101.1 |
| | 鹿児島 | 900 | 850 | 148,000 | 94.6 | 60.9 | 790 | 130,350 | 87.8 | 153,600 | 914 | 101.6 | 972 | 108.0 |
| | 佐賀 | 920 | 870 | 151,000 | 95.6 | 65.4 | 790 | 130,350 | 85.9 | 155,600 | 926 | 100.7 | 986 | 107.2 |
| | 青森 | 910 | 860 | 150,000 | 97.3 | 59.3 | 790 | 130,350 | 86.8 | 151,900 | 910 | 100.0 | 966 | 106.2 |
| | 秋田 | 910 | 860 | 149,000 | 96.4 | 60.2 | 790 | 130,350 | 86.8 | 146,900 | 885 | 97.2 | 926 | 101.8 |
| | 宮崎 | 900 | 850 | 148,000 | 95.2 | 61.2 | 790 | 130,350 | 87.8 | 154,100 | 923 | 102.5 | 944 | 104.9 |
| 沖縄 | 950 | 900 | 156,000 | 97.7 | 69.7 | 790 | 130,350 | 83.2 | 148,100 | 892 | 93.9 | 978 | 102.9 | |

*1 月額を2016「賃金構造基本統計調査」(厚生労働省)所定内実労働時間数全国平均(164時間)で除し、10円未満は四捨五入した。(所定内実労働時間数=総実労働時間数-超過実労働時間数)

*2 【これまでの調査との連続性を保つための参考データ】月額を法定労働時間数の1か月当たり上限173.8時間で除し、10円未満は四捨五入した。

*3 さいたま市のリビングウエイジ(単身者)を住居費以外(126,217円)と住居費(46,271円)に分解し、それぞれを修正した地域物価指数「住居費以外」*4および修正した地域物価指数「住居費」*5を用いて換算し、合計した。1,000円未満は四捨五入した。

*4 「2016年小売物価統計調査(構造編)」(総務省統計局)の「家賃を除く総合」指数を用い、さいたま市=100として都道府県別に指数を算出した。

*5 「2013年住宅・土地統計調査」(総務省統計局)の「1か月当たり家賃・間代」(0円を含まない)と「1か月当たり共益費・管理費」(0円を含まない)を定した額を用い、さいたま市=100として都道府県別に指数を算出した。

*6 出所:「2019年度地域別最低賃金額改正状況」(連合)

*7 地域別最低賃金額(時間額)に2018「賃金構造基本統計調査」(厚生労働省)所定内実労働時間数全国平均(164時間)を乗じた。

*8 出所:2018「賃金構造基本統計調査」(厚生労働省)

*9 2018「賃金構造基本統計調査」(厚生労働省)都道府県別所定内実労働時間数で除した。

鳥取県 費目別・世帯人員別標準生計費 (平成28年、29年、30年)

資料出所：鳥取県人事委員会

| 世帯人員 費目 | 1人 | | | 2人 | | | 3人 | | | 4人 | | | 5人 | | |
|------------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 28年 | 29年 | 30年 | 28年 | 29年 | 30年 | 28年 | 29年 | 30年 | 28年 | 29年 | 30年 | 28年 | 29年 | 30年 |
| 食料費 | 22,560 | 24,850 | 24,660 | 33,330 | 43,810 | 39,440 | 42,520 | 51,300 | 48,990 | 51,650 | 58,790 | 58,540 | 60,840 | 66,290 | 68,090 |
| 住居関係費 | 37,890 | 38,000 | 39,330 | 41,730 | 46,890 | 43,100 | 38,120 | 40,030 | 38,760 | 34,470 | 33,170 | 34,410 | 30,860 | 26,320 | 30,060 |
| 被服・履物費 | 1,770 | 1,780 | 2,070 | 4,240 | 4,480 | 7,220 | 5,210 | 5,820 | 8,300 | 6,180 | 7,180 | 9,370 | 7,150 | 8,520 | 10,440 |
| 雑費Ⅰ | 19,050 | 21,020 | 19,420 | 25,790 | 28,440 | 17,550 | 36,480 | 39,160 | 32,540 | 47,160 | 49,880 | 47,540 | 57,840 | 60,600 | 62,540 |
| 雑費Ⅱ | 7,200 | 5,250 | 8,050 | 26,530 | 15,280 | 18,410 | 26,530 | 16,560 | 22,810 | 26,530 | 17,840 | 27,200 | 26,480 | 19,150 | 31,590 |
| 計 | 88,470 | 90,900 | 93,530 | 131,620 | 138,900 | 125,720 | 148,860 | 152,870 | 151,400 | 165,990 | 166,860 | 177,060 | 183,170 | 180,880 | 202,720 |

(注) 1 費目別、世帯人員別標準生計費の算定

2～5人世帯については、「家計調査」(総務省)における鳥取市の調査結果(全世界帯・平成28年4月分、平成29年4月分、平成30年4月分)に基づく費目別平均支出金額(4人世帯の1か月当たりの支出金額に調整したもの)に、費目別、世帯人員別生計費換算乗数を乗じて求めた。

1人世帯については、全国の1人世帯の費目別標準生計費に、全国の費目別平均支出金額に対する鳥取県の同支出金額の割合を乗じて求めた。

2 標準生計費の費目

標準生計費は、次の費目に分類して算定しているが、各費目の内容は、それぞれ次に掲げる家計調査等の大分類項目に対応する。

- 食料費……………食料
- 住居関係費……………住居、光熱・水道及び家具・家事用品
- 被服・履物費……………被服及び履物
- 雑費Ⅰ……………保健医療、交通・通信、教育及び教養娯楽
- 雑費Ⅱ……………その他の消費支出(諸雑費、こづかい、交際費及び仕送り金)

費目別標準生計費（鳥取県）

資料出所：鳥取県人事委員会

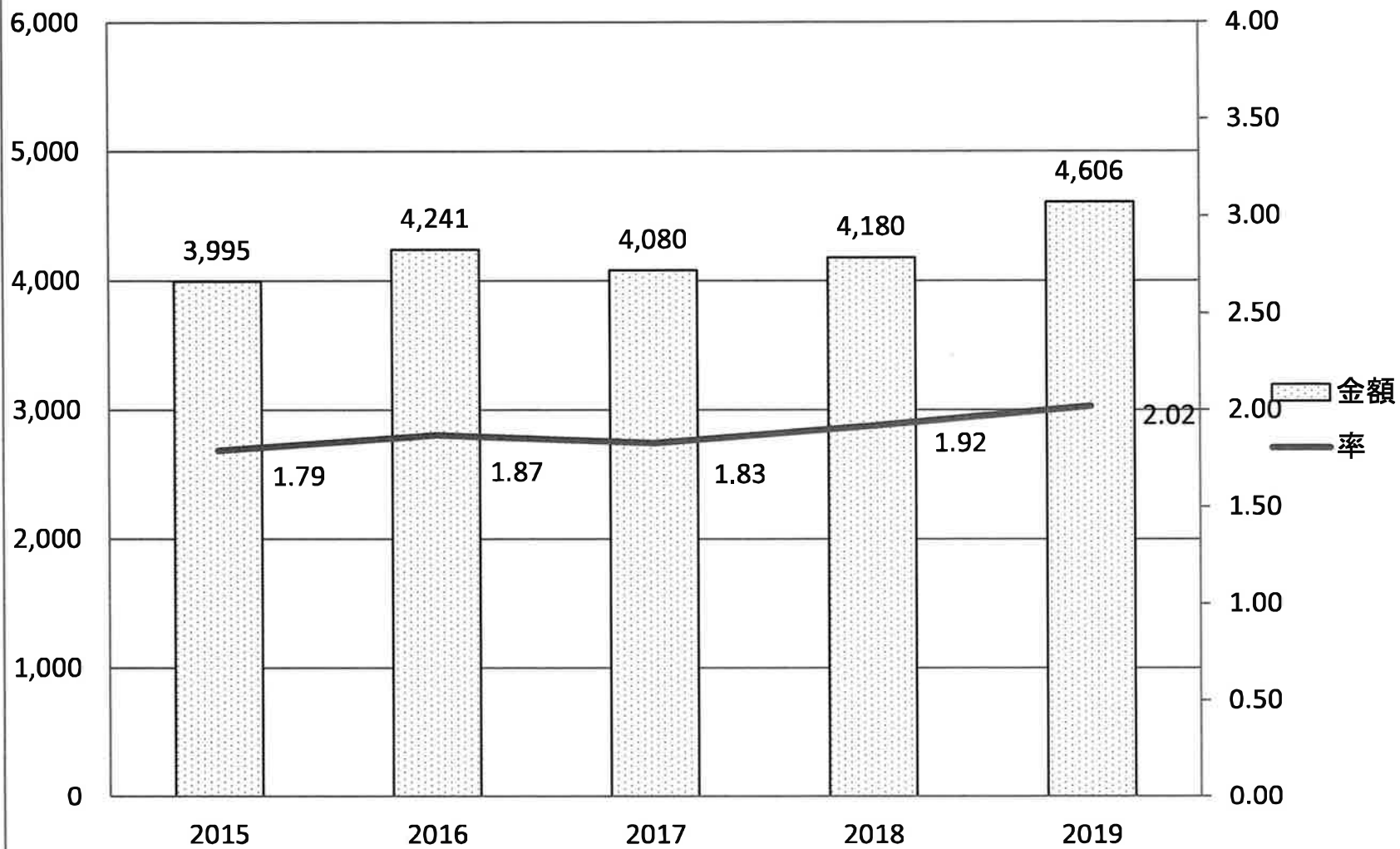
| 1人世帯 標準生計費 | 食料費 | 住居関係費 | 被服・履物費 | 雑費Ⅰ | 雑費Ⅱ | 合計 ① | 負担費修正値 (①×1.312) |
|-----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------------------|
| 平成26年 | 24,060 | 43,620 | 3,000 | 21,760 | 11,370 | 103,810 | 136,199 |
| 平成27年 | 25,400 | 32,650 | 2,870 | 20,480 | 12,190 | 93,590 | 122,790 |
| 平成28年 | 22,560 | 37,890 | 1,770 | 19,050 | 7,200 | 88,470 | 116,073 |
| 平成29年 | 24,850 | 38,000 | 1,780 | 21,020 | 5,250 | 90,900 | 119,261 |
| 平成30年 | 24,660 | 39,330 | 2,070 | 19,420 | 8,050 | 93,530 | 122,711 |
| 5年平均 (平成26年～平成30年) | 24,306 | 38,298 | 2,298 | 20,346 | 8,812 | 94,060 | 123,407 |

※ 非消費支出の消費支出に対する割合（非消費支出÷消費支出×100）は、2015年の全国平均の31.2%（総務省統計局「家計調査」）を目安とし、標準生計費に1.312を乗じた数値を非消費支出を含んだ負担費修正値とした。

- (注) 1 費目別、世帯人員別標準生計費の算定
1人世帯について、全国の1人世帯の費目別標準生計費に、全国の費目別平均支出金額に対する鳥取県の同支出金額の割合を乗じて求めた。
- 2 標準生計費の費目
標準生計費は、次の費目に分類して算定しているが、各費目の内容は、それぞれ次に掲げる家計調査等の大分類項目に対応する。

食料費……………食料
住居関係費……………住居、光熱・水道及び家具・家事用品
被服・履物費……………被服及び履物
雑費Ⅰ……………保健医療、交通・通信、教育及び教養娯楽
雑費Ⅱ……………その他の消費支出（諸雑費、こづかい、交際費及び仕送り金）

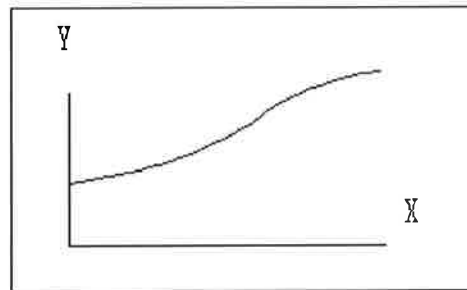
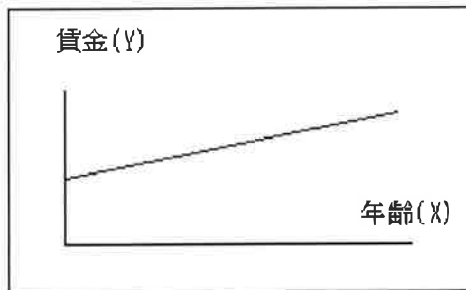
連合鳥取2015～2019春闘 回答・妥結(加重平均)



【回帰式について】

次図のようにデータをあてはまり良く結んだ直線（または曲線）の式を回帰式といいます。1次回帰式と3次回帰式を、特徴によって使い分けましょう。

| | |
|--|--|
| <p>1 次回帰：直線（一次関数） 地域ミニマムでは20-40歳間の直線グラフを引いている。その「傾き」＝「1歳1年間差」＝「賃金カーブ維持分」とみなすこともできる。</p> | <p>3 次回帰：曲線（三次関数） 地域ミニマムでは18-55歳間のグラフ。初任給から賃金カーブが立ち上がり、高い年齢ではカーブが寝る形。あてはまりが良く年齢ポイント別賃金を見るのに役立つ。</p> |
|--|--|



1

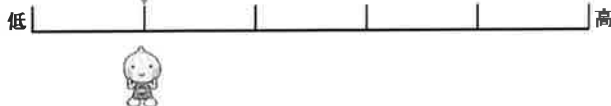
【分位数について】

労働者を賃金の低い者から高い者へと並べて、何等分目かに位置する者の値

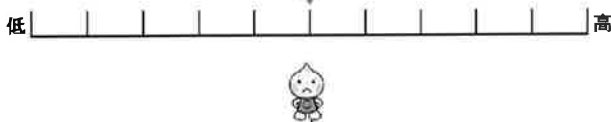
- ①全体を十等分し、低いほうから10%にあたる人の賃金
第1・十分位数



- ②全体を四等分し、低いほうから25%目(1/4)にあたる人の賃金
第1・四分位数



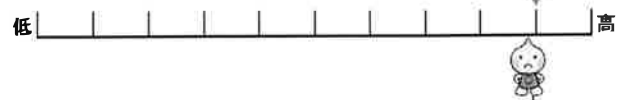
- ③全体のちょうど真ん中(50%目)にあたる人の賃金
中位数

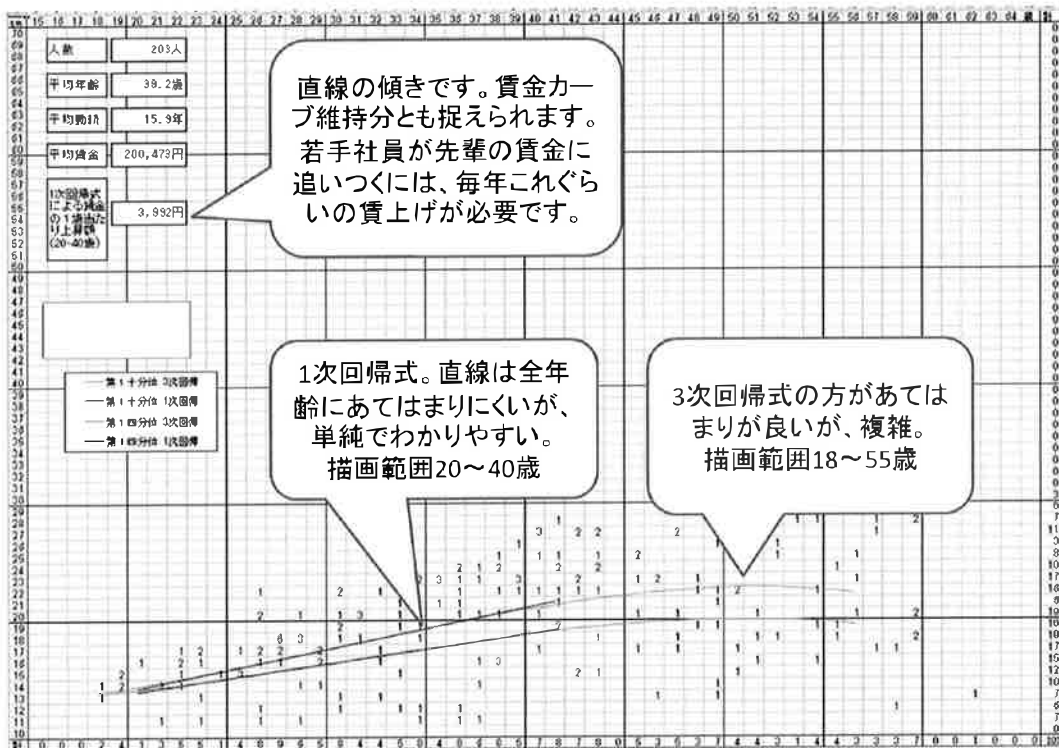


- ④全体を四等分し、低いほうから75%目(3/4)にあたる人の賃金
第3・四分位数



- ⑤全体を十等分し、低いほうから90%目(9/10)にあたる人の賃金
第9・十分位数





3

単組での活用について

分析機関の集計結果や賃金分析システムを活用し、問題点の洗い出しや様々な比較をしましょう。

自単組内の賃金を点検するまずは自単組のプロット図で、特に以下の3点を点検しましょう。

- 1) 「連合リビングウェイジ」以下など、低い賃金の実在者がいないか
- 2) 同じ年齢でも大きな格差が存在しないか
- 3) 異なる年齢間で賃金のバランスはとれているか

2020春季生活闘争 連合鳥取の取り組み日程

2020.1 現在

2019年10月

・2019 地域ミニマム運動「個別賃金実態調査」⇒調査結果（データ）を関係組織へ配布〔12月〕

2019年12月

・06日（金）連合中国ブロック春季生活闘争推進会議〔岡山〕

2020年01月

・10日（金）中小労働局会議（闘争方針検討）
 ・17日（金）拡大執行委員会（闘争方針決定、闘争委員会設置）
 ・27日（月）第1回中小共闘センター幹事会（闘争方針の具体化）

2020年02月

・08日（土）2020 春季生活闘争開始宣言集会

| 2月 | | | 3月 | | | 4月 | | |
|----|---|------------------------------|----|---|-----------------------|----|---|------------|
| 日 | 曜 | 取り組み内容 | 日 | 曜 | 取り組み内容 | 日 | 曜 | 取り組み内容 |
| 1 | 土 | | 1 | 日 | | 1 | 水 | |
| 2 | 日 | | 2 | 月 | | 2 | 木 | |
| 3 | 月 | | 3 | 火 | | 3 | 金 | |
| 4 | 火 | | 4 | 水 | | 4 | 土 | |
| 5 | 水 | | 5 | 木 | | 5 | 日 | |
| 6 | 木 | | 6 | 金 | 春闘勝利総決起集会 (地協統一行動) | 6 | 月 | |
| 7 | 金 | | 7 | 土 | | 7 | 火 | |
| 8 | 土 | 2020 春闘・闘争開始宣言集会 | 8 | 日 | | 8 | 水 | |
| 9 | 日 | | 9 | 月 | | 9 | 木 | |
| 10 | 月 | | 10 | 火 | | 10 | 金 | 未解決組合支援行動 |
| 11 | 火 | | 11 | 水 | | 11 | 土 | |
| 12 | 水 | 単組代表者会議（中部） | 12 | 木 | | 12 | 日 | |
| 13 | 木 | 全国一斉労働相談ダイヤル 経営者団体との意見交換会 | 13 | 金 | | 13 | 月 | |
| 14 | 金 | 単組代表者会議（西部） 全国一斉労働相談ダイヤル | 14 | 土 | | 14 | 火 | |
| 15 | 土 | | 15 | 日 | | 15 | 水 | |
| 16 | 日 | | 16 | 月 | | 16 | 木 | 第4回闘争委員会 |
| 17 | 月 | 単組代表者会議（東部） | 17 | 火 | | 17 | 金 | |
| 18 | 火 | | 18 | 水 | | 18 | 土 | |
| 19 | 水 | | 19 | 木 | (要求回答状況速報 No1 発行) | 19 | 日 | |
| 20 | 木 | 第2回闘争委員会 | 20 | 金 | | 20 | 月 | |
| 21 | 金 | (要求内容集約要請書発行) | 21 | 土 | | 21 | 火 | |
| 22 | 土 | | 22 | 日 | | 22 | 水 | |
| 23 | 日 | | 23 | 月 | | 23 | 木 | |
| 24 | 月 | | 24 | 火 | 第3回闘争委員会 | 24 | 金 | |
| 25 | 火 | | 25 | 水 | | 25 | 土 | |
| 26 | 水 | | 26 | 木 | | 26 | 日 | |
| 27 | 木 | | 27 | 金 | | 27 | 月 | |
| 28 | 金 | | 28 | 土 | | 28 | 火 | |
| 29 | 土 | | 29 | 日 | | 29 | 水 | 第91回メーデー大会 |
| | | | 30 | 月 | | 30 | 木 | |
| | | | 31 | 火 | | | | |

3/10
~12
大手
ヤマ
マ場
回答

未加盟組合オルグ
(中旬)

マスコミ公表
(中旬)

- ◎要求書提出⇒3月上旬まで、遅くとも3月末まで。
- ◎集中交渉・決着⇒3月中旬～4月に交渉を集中させ、連休前決着に最大限努力。
- ◎要求・回答状況速報⇒3月22日以降、毎週発行
- ◎街宣車による定例街宣行動⇒3/上旬～4/中旬に毎週設定し、県連合・地協等で連携し実施する。
- ◎闘争委員会は、執行委員会終了後に開催する。
- 7月15日(木)拡大執行委員会〔2020 春季生活闘争の中間総括(案)提起〕



R&PV